

文部省檢定濟

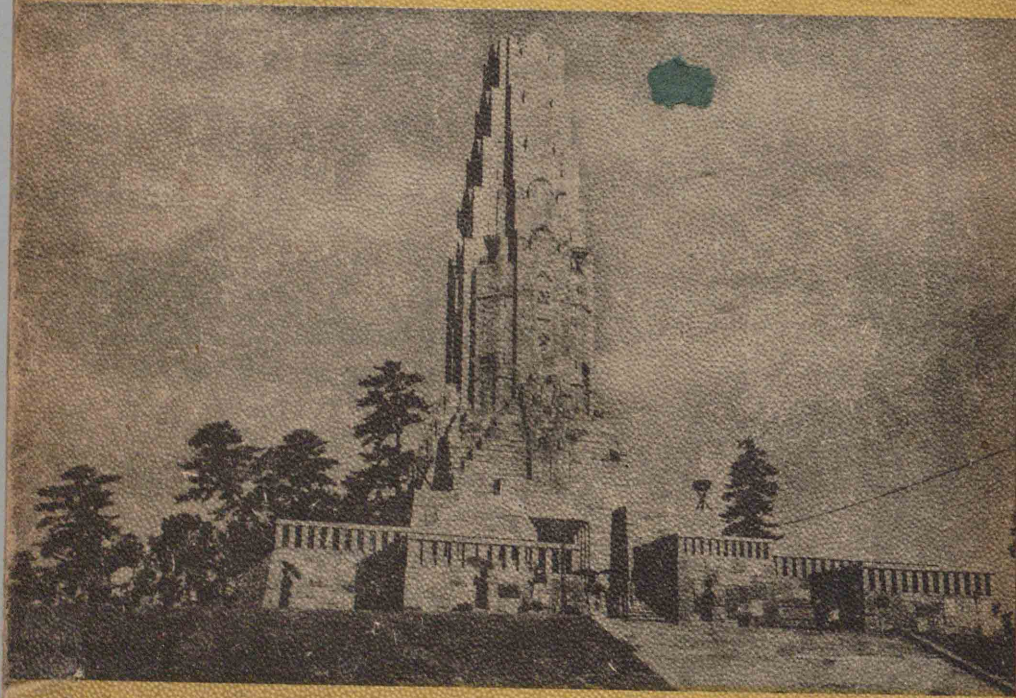
守屋荒美雄著
經濟學士 守屋美智雄補訂

新令準據

綜合地理

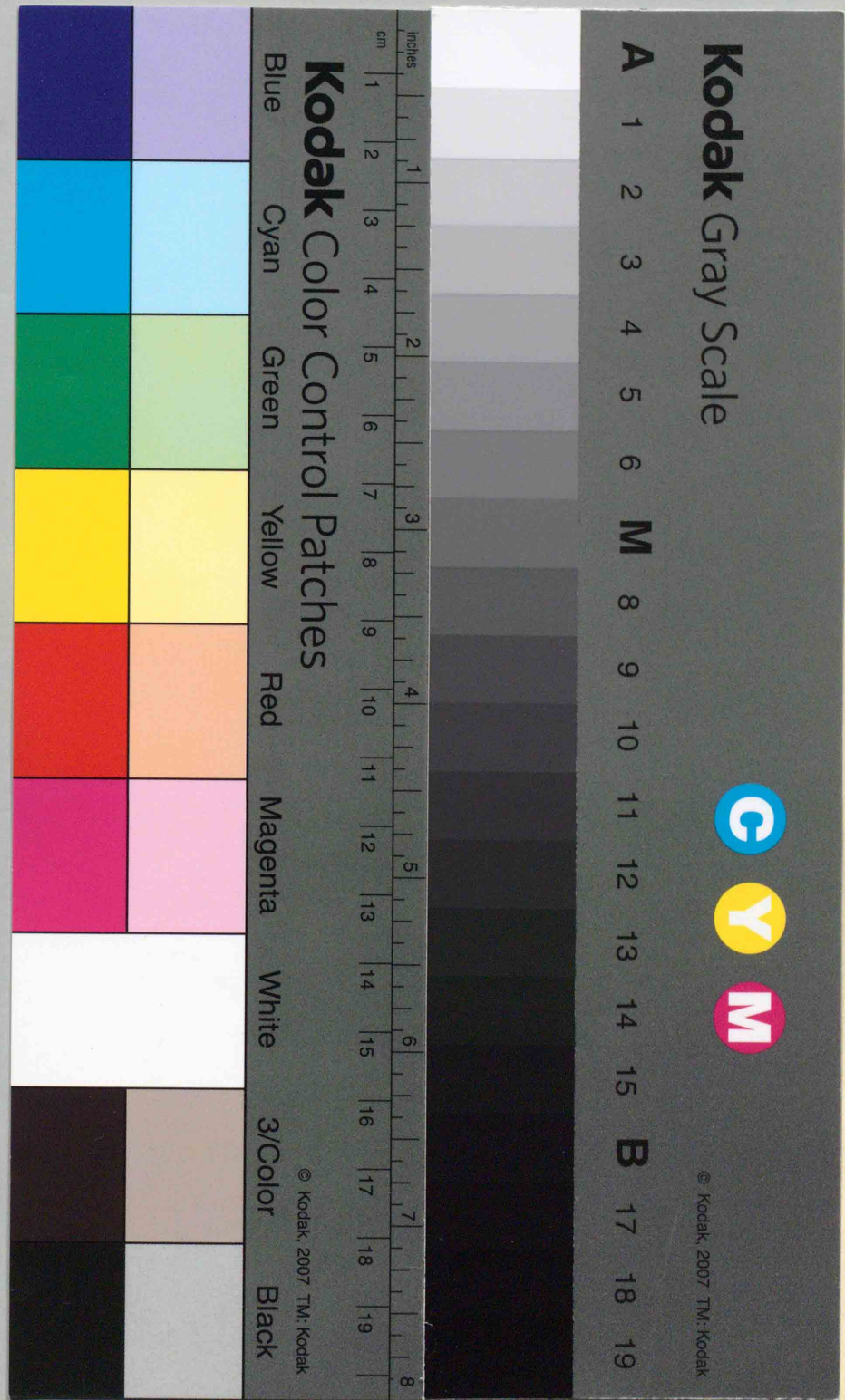
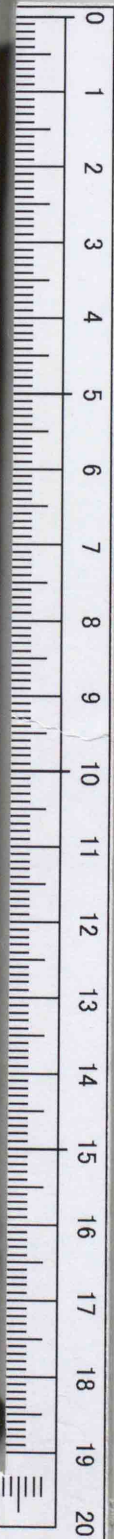
日本篇 實業學校用

修正版



株式會社
帝國書院

教科書文庫
4
290
44-1941
2000034773



42797

教科書文庫

4
290
44-1941
20000 34773



文部省檢定済
昭和十六年十一月十三日 實業學校 地理科

守屋荒美雄著
經濟學士 守屋美智雄補訂

新令準據

綜合地理

日本篇 實業學校用



修正版

広島大学
図書印



静岡縣の茶摘み

広島大学図書

2000034773

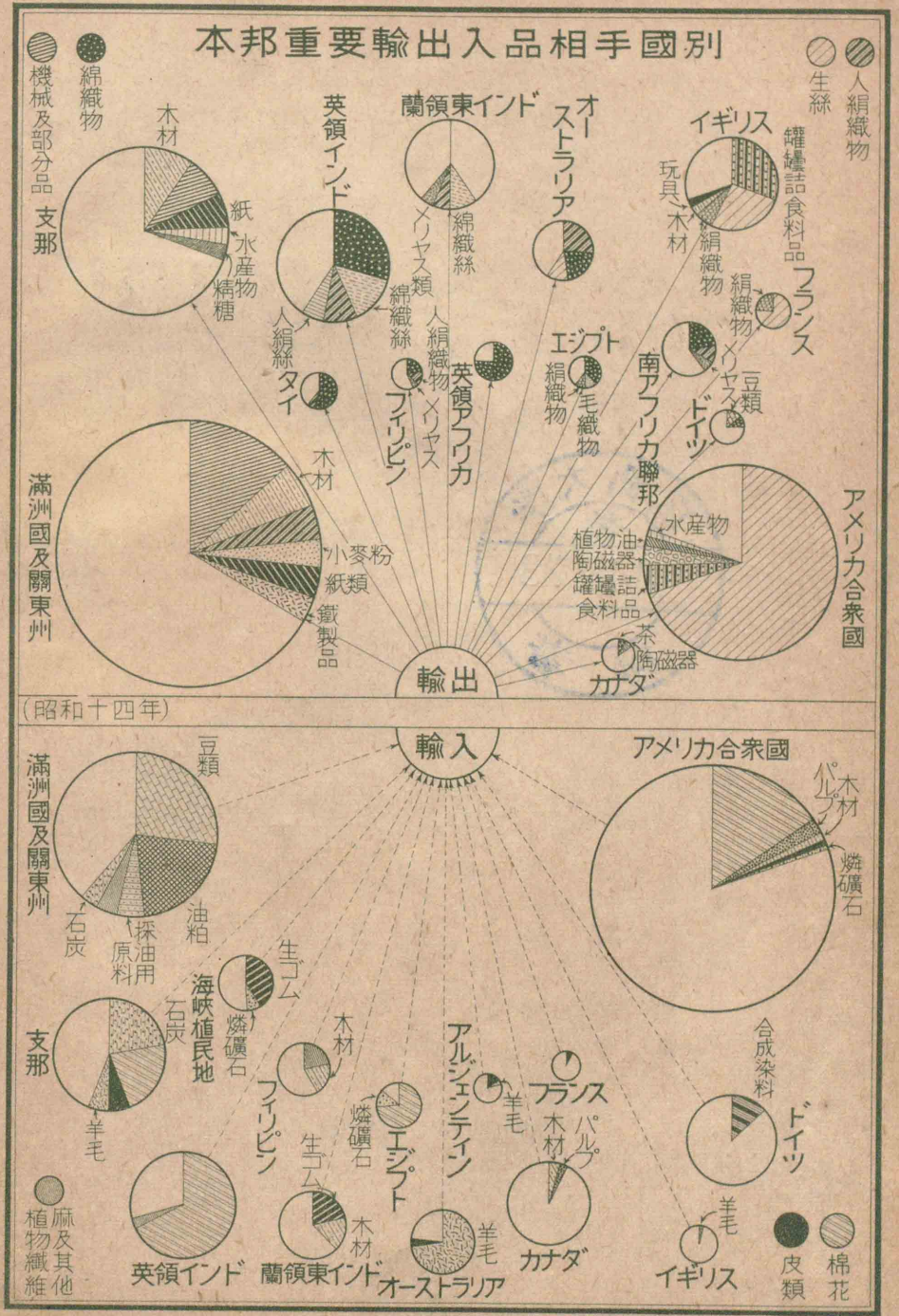


株式會社
帝國書院

教科書文庫
4
290
44-1941
2000034773

資料室

375.9
M018



例 言

本書は、比較的地理教授時數の少い實業學校の地理教授用に充てんがため、特に次の諸點に注意しつゝ、編纂したものである。

(一) 頁數の制約を受けながらも、各地方及び我が國全體の經濟的特異性に就いては、著者が抱懷する見解の骨子を剩す處なく敘述し、特に新興産業の解説にも遺憾なきを期した。

(二) 地方誌の説述法は、地理科の本質と學習上の便宜とに鑑み、左の順に従ひ、最も理論的に各地方の經濟的特異性を明らかにすること、次に努めた。即ち、(イ) 先づ位置、地勢、氣候等の自然を概説し、(ロ) これに基づいて各地方を數箇の地理區に分ち、各區毎に産業及びこれと密接な關聯を有する處誌を述べ、(ハ) 次に如上の自然及び産業と交通商業との關係を明らかにし、(ニ) 更に

例言

各地方特有の生活情態並びに其の特異性を究めて、最後に我が國の經濟的特異性を歸納する伏線とした。

(三) 行文は能ふ限り平易簡明を旨とし、尙精選した插畫類を豊に

し、卷末には完備した圖表を添へて、各種物産の分布状態を一

目瞭然たらしめた。

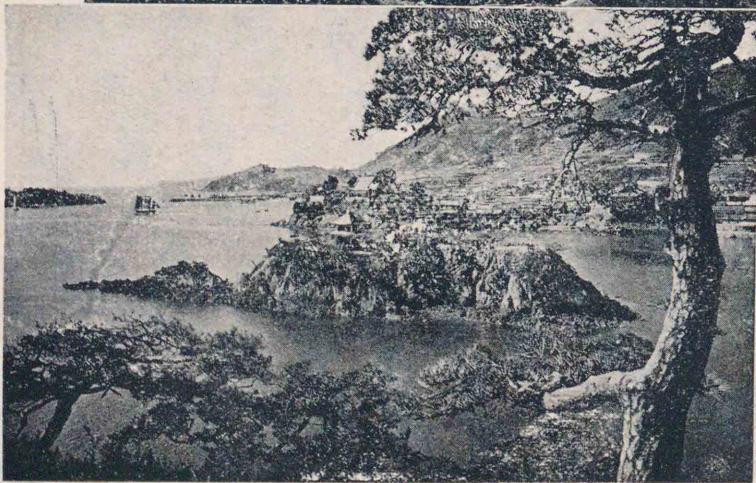
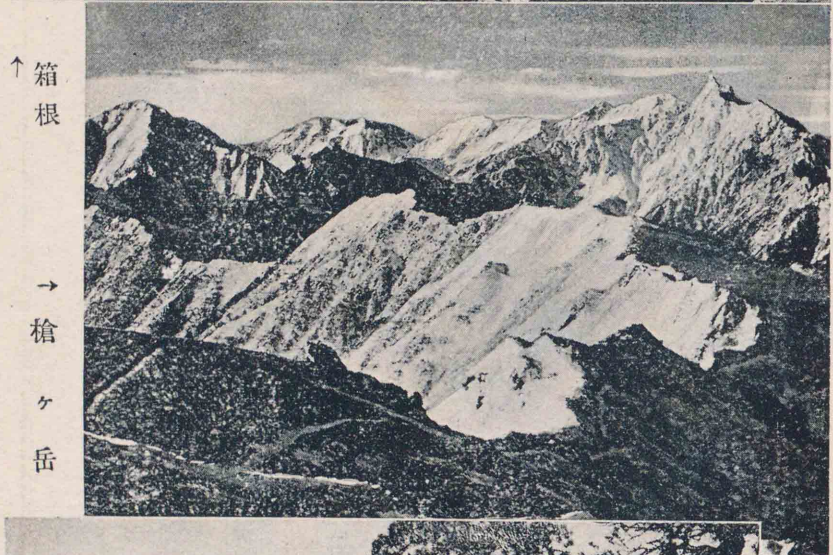
本書の編纂に當り、多大の御援助を賜はつた諸賢に對し、謹んで深謝の意を表する。

昭和十五年十月

補訂者識

目次

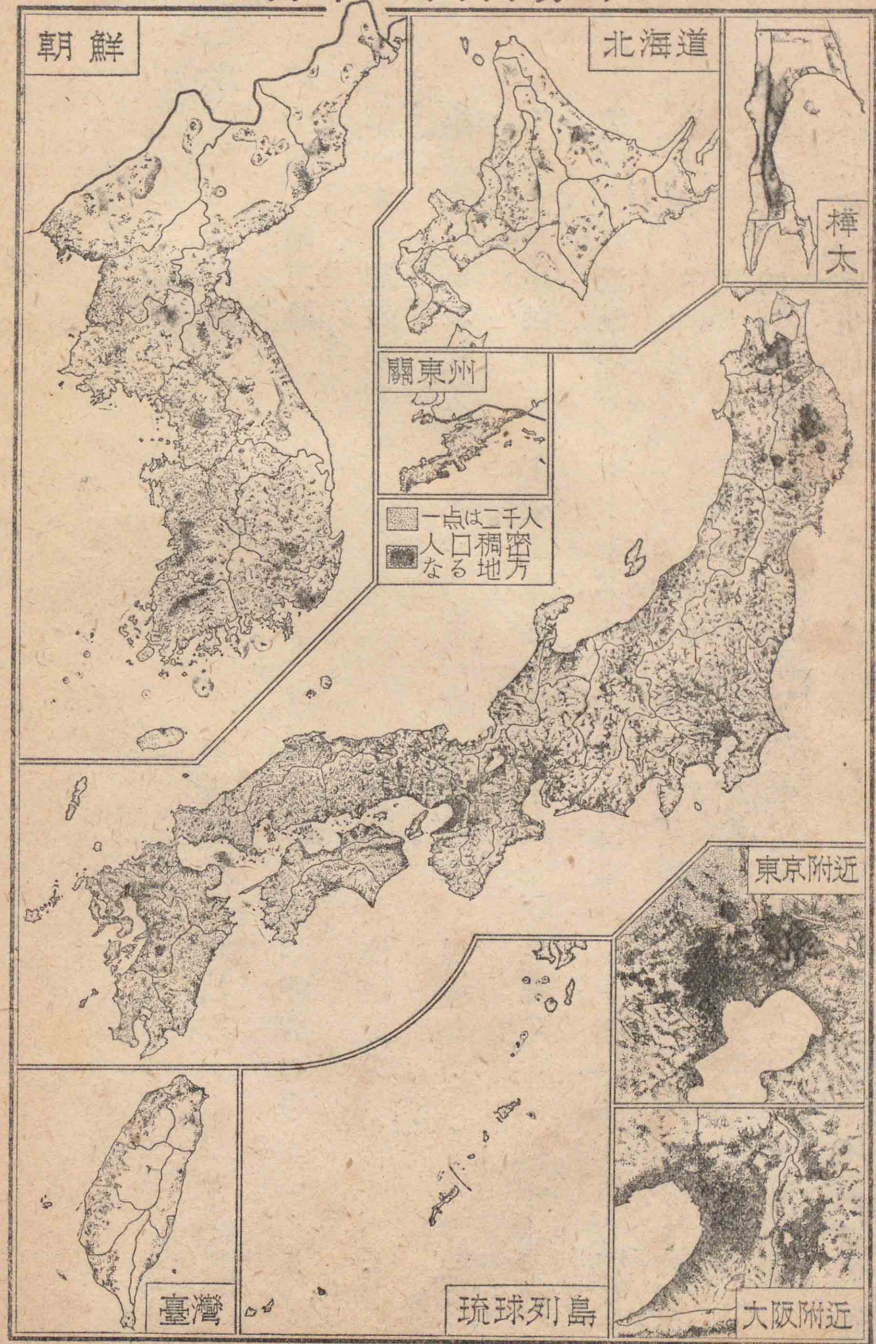
序 説 我が國……………	一	第八章 臺灣地方……………	四
第一編 地方誌……………	三	第九章 南洋群島地方……………	五
第一章 關東地方……………	三	第十章 北海道地方……………	五
第二章 奥羽地方……………	一〇	第十一章 樺太地方……………	六
第三章 中部地方……………	一五	第十二章 朝鮮地方……………	六
第四章 近畿地方……………	一四	第十三章 關東州地方……………	七
第五章 中國地方……………	三	第二編 總括……………	七
第六章 四國地方……………	三	結 論……………	七
第七章 九州地方……………	四		



↑ 箱根
→ 槍ヶ岳

瀬戸内海(鞆附近)

日本の人口分布



新令
標準

綜合地理

日本篇
實業學校用

修正版

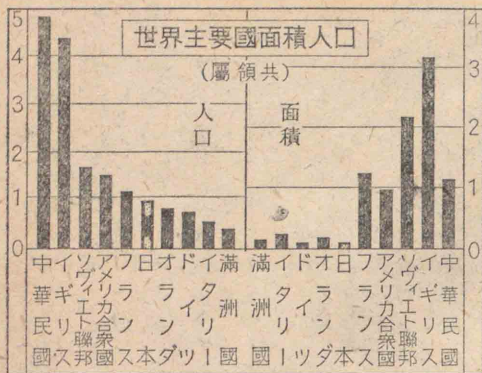
序説 我が國

美しき日本 我が國はアジア大陸の東邊にあつて、東南に太平洋を控へたよい位置を占め、氣候がよく、天然資源の種類にも富んでゐる。其の上

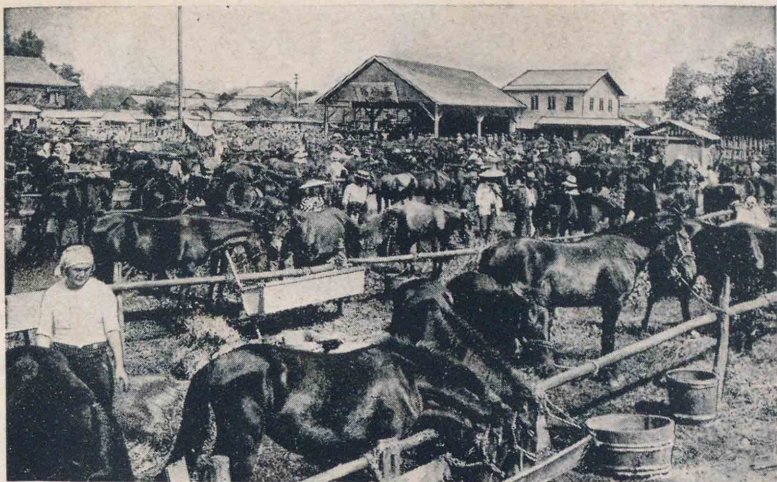
忠君愛國の熱情に燃える天孫種族を中心として、國民が一致團結し、以て世界無比の美しい國體を形成してゐる。

發展する日本 我が國は建國以來、生々發展して已む時がない。殊に明治以後の發展は目覺しく、内は國力を充實し、外は新領土を併せて、今や面積六十八萬方呎、人口一億を算するに至つた。更に皇威は大陸に伸びて、滿洲國とは不可分の關係を

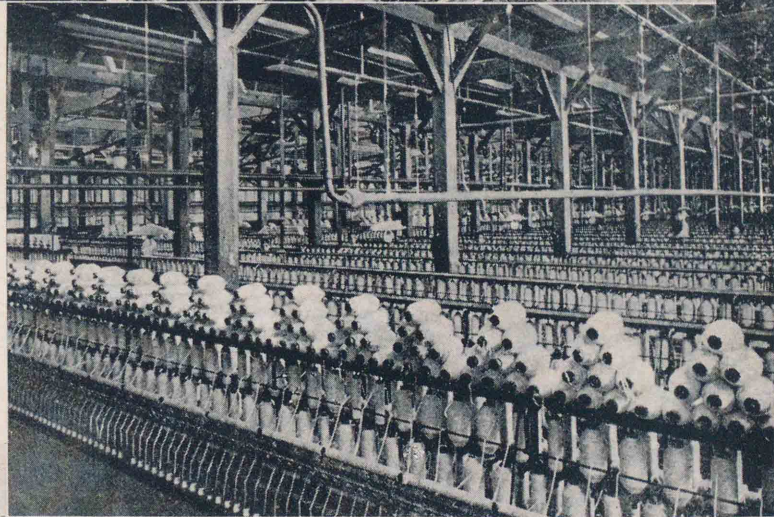
序説



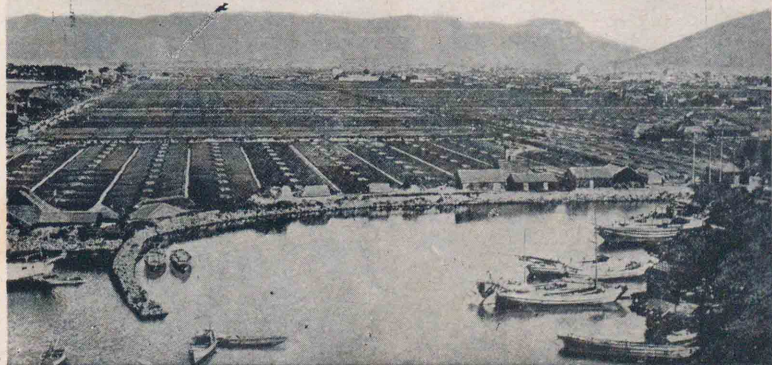
盛岡の馬市



大阪の紡績工場

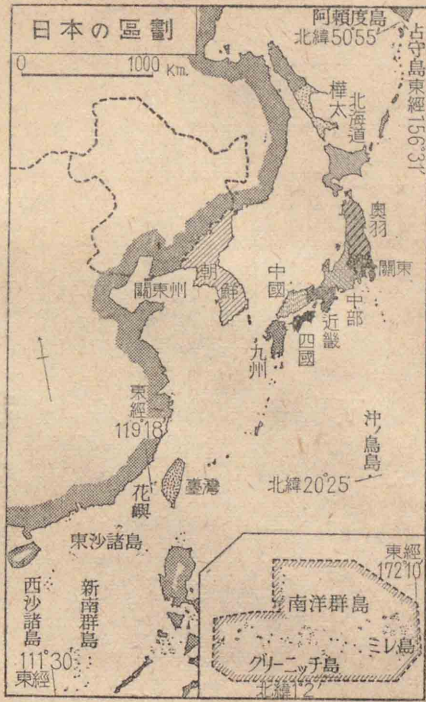


坂出鹽田



結び支那には親日政権の誕生を迎へ、茲に名實共に東亞の強大な指導者の地位に立つた。

地理の學習 このやうに美しくして強い日本が出来たのは、固より御稜威のいたす處ではあるが、一面國民の素質が優れてゐて、よく自然を理解し、



これを利用して來たからである。この國家發展の理由を明らかにし、更に將來進むべき道を知るためには、地理科の學習は最も大切である。本書では我が國を十三地方に分けて述べる。

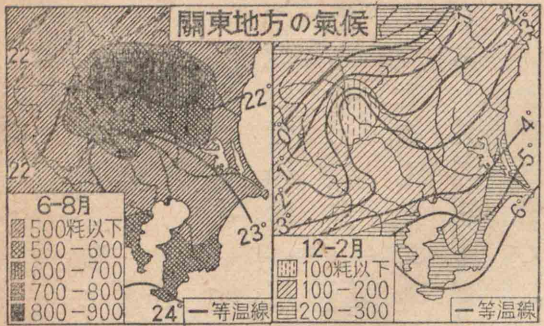
第一編 地方誌

第一章 關東地方

面積三、三六方料
人口一、六六萬人
一方料五三三人

自然 位置・地勢

我が本土の略中央部にあり、北西部には阿武隈三國、關東の諸山脈と、那須富士の二



關東地方

火山脈とが連なり、火山や温泉が澤山ある。北西の山地から流れ出る諸川の流域には、我が國最大の關東平野が開けてゐる。この平野の南には、丘陵性の房總三浦の兩半島が突出してゐる。

北西が山地に圍まれ、且近海に暖流が流れて

阿武隈		關東		山脈三國		火山脈	
利根	江戸	荒	多摩	那須山	男體山	赤城山	那須
			相模	房總半島	三浦半島	箱根山	富士
				東京灣	三原山		
				相模灣			

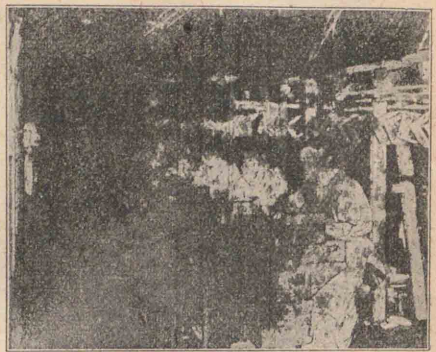
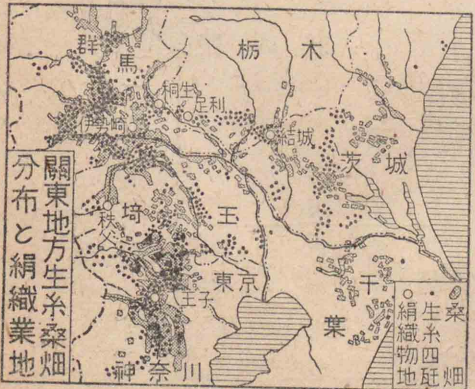
ゐるため、氣候が一般に溫和である。殊に房總半島南部・三浦半島及び相模灣沿岸は、氣候に恵まれてゐる。雨は夏に多く、冬は少い。産業處誌 地勢上、北西部山地と關東平野と、南部地方と、ずつと南方に離れた豆南諸島とに四大別する。

(一)北西部山地 夏涼しいので、よい避暑地となり、風景がよく、温泉も澤山ある。保養遊覽地が多く、殊に日光と箱根とは國立公園に指定され、世界的に知られてゐる。常磐炭田、日立・足尾の銅山があり、又各地に石材を産する。諸川の上流では水力發電が盛である。日立の精鍊機械、高萩の人絹人織工業は、この地域に起つてゐる。

(二)關東平野 關東平野は臺地と低地とに分れ、低地は多く水田

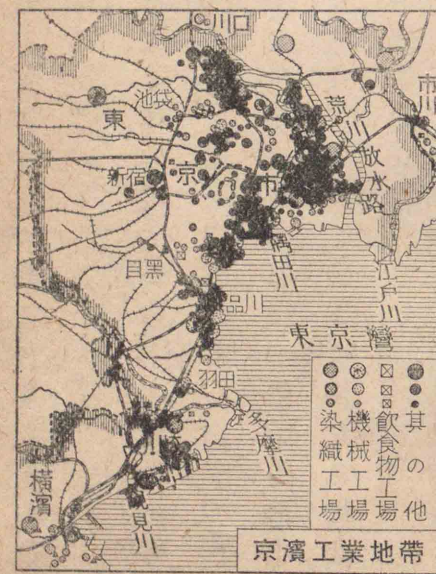
製絲業地 前橋高崎富岡熊谷
織物業地 桐生足利伊勢崎八王子秩父川越
工業地 東京川崎横濱川口
大宮野田銚子日立

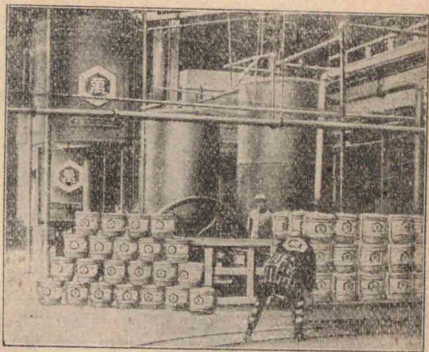
關東地方生糸桑畑分布と絹織物業地



となり、臺地は水利が悪いので概ね畑となり、麥大豆甘藷等の栽培が盛である。大都市附近では野製絲菜が多く作られる。又處々に雑木林があつて薪炭を産し、養鶏や養豚等も行はれる。山地に近い山地方は一般に養蠶が盛で、群馬埼玉の二縣は殊に著しく、それ故、足利・桐生・伊勢崎・秩父・八王子等には製絲及び絹織物業等が發達した。

東京灣の西岸には東京川崎横濱の三市があつて、所謂京濱工業地帯をなしてゐる。其の動力となる石炭は、常磐炭田や北海道から、水力電氣は北西部の山地及び奥羽や中部地方から供給され、原料は外國からも輸入して、綿絲綿布機械金屬肥料その他、各種の工業

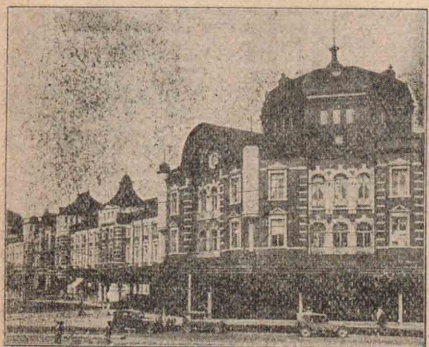




野田の醤油工場
 が行はれてゐる。其の上、東京横濱のよい港があつて、原料や製品の運搬に非常に好都合である。東京は政治、經濟、教育等、諸文化の大中心で、世界第一の大都市、日本第一の大工業都市である。其の商業の取引範圍は、主として日本の東半分を占めてゐる。横濱は六大都市の一で、我が國最大の貿易港、東日本の關門をなしてゐる。

利根川、江戸川の下流地方は、氣候や水質が醸造に適してゐるので、酒や醬油の産が多く、野田・銚子等は殊に有名である。其の他、平野の周邊には千葉・水戸・宇都宮・前橋等があつて、地方商業の中心地となつてゐる。

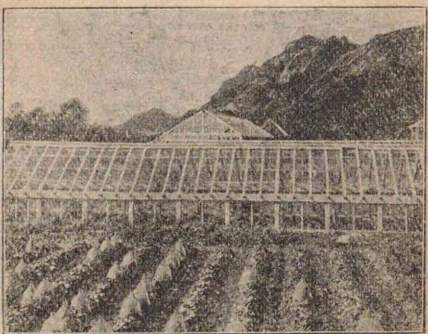
(三) 南部地方 茂原・大多喜の地方には、天然ガスを利用して電球、自轉車等の工業が行はれる。



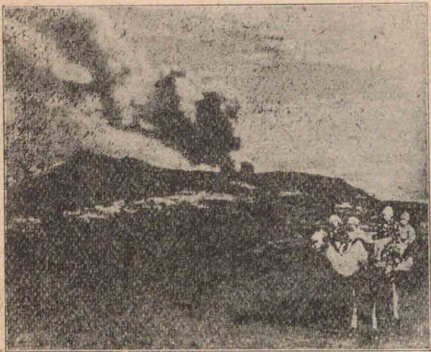
東京驛

海岸には良港が多く、其中、横須賀は軍港で鎮守府が置かれ、三崎・館山等は漁港に利用される。

この地方は暖流に洗はれて、鯉・鮪・鰻等の魚類が多いので、水産業が盛に行はれ、又東京灣では海苔の養殖が盛で、淺草海苔の名はよく知られる。尙野菜の促成栽培、果樹の栽培も盛で、神奈川縣には桃、千葉縣には枇杷が多い。相模灣の沿岸には鎌倉



房總半島の促成栽培



山
 三原雨である。大島は活火山の三原山に名高く、小笠原諸島には甘蔗やバナナ、パイナップル等の熱帯性果實を産し、又冬季野菜を栽培して京濱地方に送る。父島の二見港は自然の良港である。

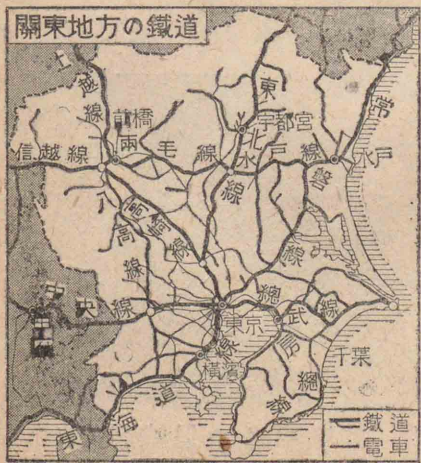
内地の三分の一以上を産するもの 大麻大麥 小麥 煙草 乾海苔

かやうに、本地方は、山地には鑛業、關東平野には農業及び工業が著しく發達し、又南部には水産業が榮えて、一大生産地帯をなしてゐる。

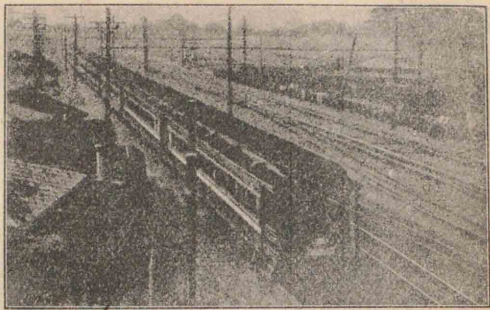
農業(米麥・大豆・甘藷・野菜・桃・枇杷・バナナ・パイナップル・養蠶) 牧畜(豚・乳牛・鶏) 林業(薪炭) 水産業(鮪・鱈・海苔) 鑛業(石炭・銅・石材) 工業(精鍊・人絹・人織生絲・絹織物・綿絲・綿布・機械・電球・自轉車・肥料・酒・醬油)

交通 廣い平野が開けて生産が多く、人口も亦多いので、交通の發達が著しい。鐵道には東海道・東北の二幹線と、中央・高崎・常磐等の諸線とがあり、東京に集中してゐる。又横濱港は内外航路の大中心である。

近年東京を中心として、電車網が發達し、航空路も、新潟・富山・大連・札幌等に通じてゐる。

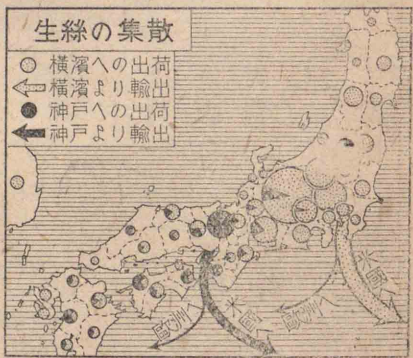


關東地方の鐵道



電化列車(特急富士)

商業 東京は大工業地の中心をなし、交通も亦便利なため、商業が發達して、東日本を商圏とし、製品は高級良質を特色とする。横濱は神戸・大阪と共に我が三大貿易港をなし、生絲絹織物の輸出機械類の輸入が多い。



生絲の集散

生活特性

日本頭の脳部ともいふべき大切な地域である。人口の密度は全國第一で、東京府・神奈川縣は殊に密である。そのため、農産物が豊富であるに拘らず、食料が不足し、穀類・青果魚類等を各方面から移入してゐる。都

府縣別		市				
茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	神奈川	東京
水戸・日立・土浦	宇都宮・足利・栃木	前橋・高崎・桐生・伊勢崎	川口・熊谷・川越・浦和・大宮	千葉・館山・銚子・市川・船橋	横濱・横須賀・川崎・鎌倉・平塚・藤澤・小田原	東京八王子・立川

會は人口五十萬以上の巨大都市が二ある外は、五萬内外の小都市が多い。海岸の漁村、東京附近の農村、山麓の機業地は、都會に衣食を給し、温泉地、海岸は、都會人士のよい保養地となり、總べて東京を中心として、生活が営まれてゐる。

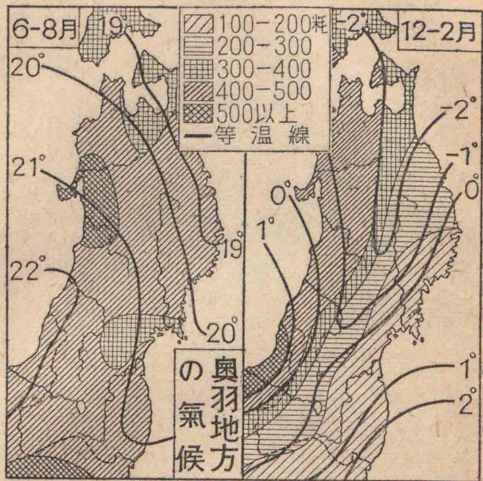
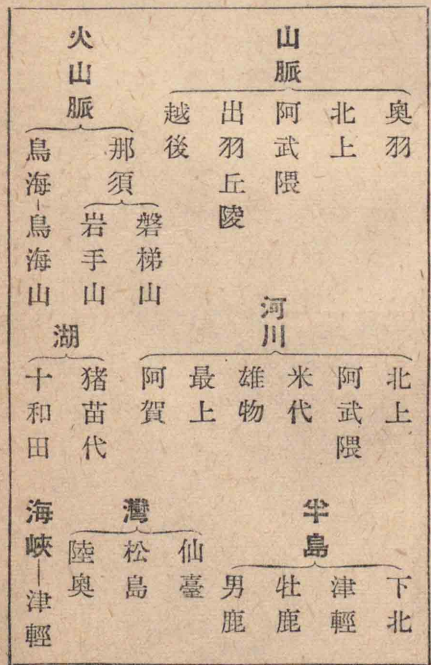
第二章 奥羽地方

突、九二万軒
七六萬人
一〇七人

自然

位置地勢

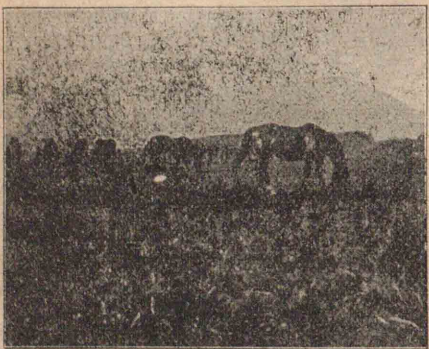
本州の東北部を占めるので東北地方ともいふ。中央には奥羽山脈と、其の上に噴出した那須火山脈とが縦走してゐる。東部には北上、阿武隈兩山脈があつて、奥羽山脈との間に細長い谷を挟み、西部には出羽丘陵、越後山脈及び鳥海火山脈が連なり、奥羽山脈との間に盆地を挟んでゐる。



分れる。

(一) 東奥羽

中央部にある仙臺平野には、米の産が多い。然し夏は霧が多く、氣温が低くなつて、農作物の生育を妨げ、冷害、凶作を招き易い。南部では養蠶が盛で、製絲業も行はれ、福島郡山は其の代表である。又高原や火山の麓は、牧馬が盛で、盛岡、白



阿武隈山地の牧馬

氣候

本州中、最も氣温が低く、且北に進むにつれて愈、低温となる。太平洋方面には、寒暖二流が流れてゐるので、夏季には屢、濃霧が発生する。日本海方面には、暖流が北上してゐるため、東奥羽よりも稍、高温であるが、冬は深雪に悩まされる。

産業處誌 本地方は奥羽山脈によつて、東

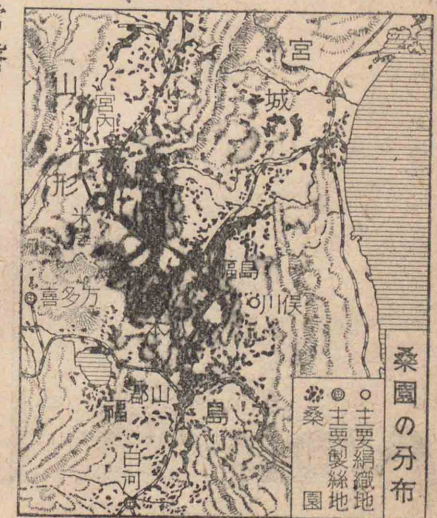
奥羽と西奥羽とに

河は其の中心をなし、盛な馬市が開かれる。
 海岸には八戸・宮古・釜石・大船渡等、多くのよ
 い漁港があつて、鮭・鱈・烏賊・鮪等の漁利が多
 い。八戸には水産加工・セメント・酒精アル
 ミニウム等の工業も起つてゐる。釜石に
 は附近の鐵礦を原料とする製鐵所があり、
 又田老には含銅硫化鐵を産して、宮古で精
 鍊する。南部には常磐



奥羽地方の漁民

炭田があつて、京濱方面
 に燃料を供給し、附近に
 人絹・人織(綿)・耐火煉瓦
 セメント(四倉・硫安)小
 名濱等の諸工業が起つて
 ある。

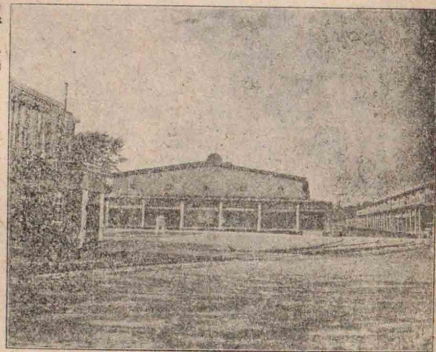


桑園の分布

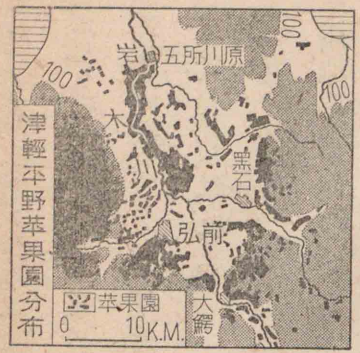
牧馬中心—盛岡白河
 織物業地—福島米澤鶴岡
 製材地—能代港
 精鍊地—釜石宮古
 工業地—郡山平八戸若松
 小名濱土崎港酒田
 交通要地—青森

仙臺は奥羽第一の大都會で、學術・軍事の中心をな
 し、附近に鹽釜・石巻の漁港と、風景のよい松島を控
 へてゐる。

(二)西奥羽 夏が高温で米の産が多く、盛に北海道
 や京濱へ送り出してゐる。酒田・横手・秋田等は其
 の集散地である。南部の盆地では養蠶が行はれ、
 米澤・鶴岡には絹織物を産出する。低温を利用し
 て、北部の弘前地方では苹果、南部の山形地方では櫻桃を栽培する。



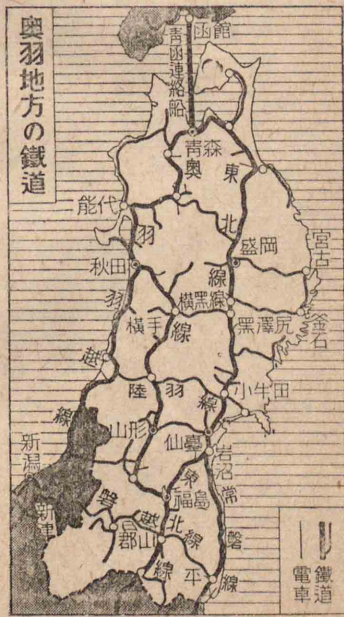
酒田の国立米倉庫



奥羽地方

北部には杉其の他の森林が多く、能代は製材業で名
 高い。又秋田縣には小坂・尾去澤等に銅鑛院内・八橋
 等に石油を産し、小坂には大精鍊所、土崎港には大製
 油所がある。
 工業は近時各地に續々と起り、猪苗代湖の水力發電
 は若松郡山等に紡績・精鍊・人絹・人織等の工業を起し

た。尙秋田・土崎港一帯の地方にはバルブ・硫安・酒田にはマグネシウム・六
 ルブ・硝子等の工業が起つてゐる。
 青森は交通の要地で、罐詰・製材等の
 工業も行はれる。
 交通 東北常磐奥羽羽越の諸鐵道
 は、地勢に従つて縦走し、横斷線は横
 谷を利用して開通した。日本海は、
 冬季に風波が荒いたため海運が振はない。
 商業 東京の商圏内にある。外國貿易は、主に横濱で行はれる。青森は、
 北海道・樺太への連絡港で、船川港・釜石・鹽釜・八戸と共に開港である。



農業(米・苹果・櫻桃・養蠶) 牧畜(馬) 林業(杉) 水産業(鱒・烏賊・鯉・鮭) 鑛業(鐵・鑛)
 含銅硫化鐵・石炭・銅・石油) 工業(水産加工・精鍊セメント・酒精・紡績・人絹・人織・
 耐火煉瓦・硫安・バルブ・硝子・生絲・絹織物・製材)

かやうに山地には鑛・林業が行はれ、平地には農・牧業が榮えてゐる。尙近

内地の三分の一以
 上を産するもの

時は工業が各地に勃興
 するに至つた。

穆苹果・櫻桃

生活特性 位置氣候に

惠まれず、稍開發が後れたため、人口密度は
 甚だ小さく、都會は何れも地方的の小都市
 である。政府は鐵道を敷設し、港灣を修築
 し、水力を開發して、經濟の振興につとめてゐるが、尙鑛山の開發、森林の利
 用を進め、又有畜・農・業を獎勵する等、残された問題が少くない。

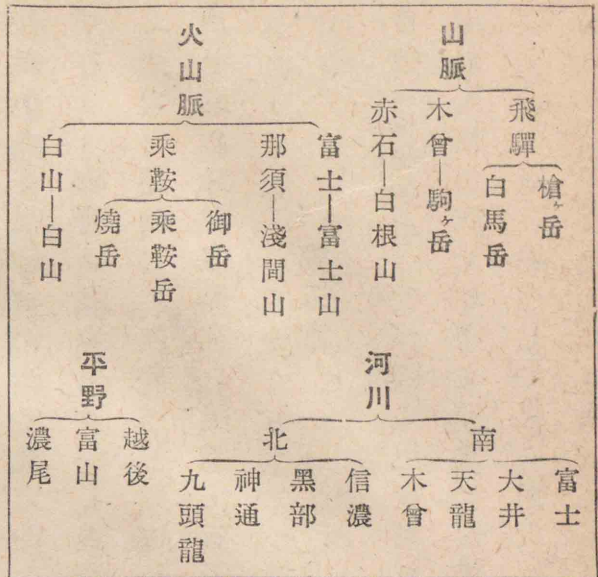
縣別		よる市			
山形	秋田	青森	岩手	宮城	福島
山形米澤酒田鶴岡	秋田能代	青森弘前八戸	盛岡釜石宮古	仙臺石巻	福島若松郡山平

第三章 中部地方

突、三〇万軒 一、三二萬人

自然 位置・地勢

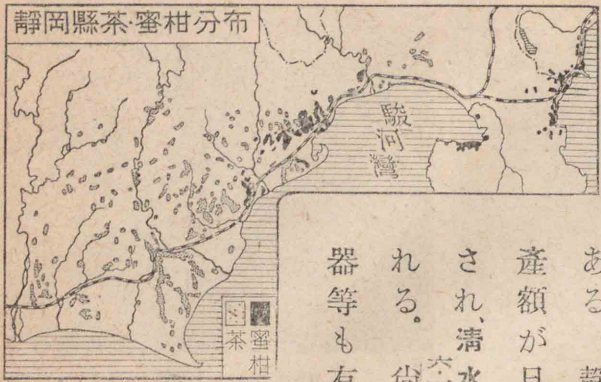
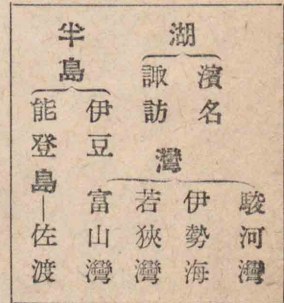
我が國の主要部である關東と近畿との間にあつて、本州
 中最も幅が廣く、地勢も非常に複雑である。中央部は一帯の高地をなし、
 富士火山脈を境として東に關東越後の山脈、西に飛驒・木曾・赤石の三山脈
 があり、飛驒山脈上には乗鞍火山脈が通じてゐる。そしてこれ等の山脈



又中央には能登半島が突出し、沖合に佐渡島が横たはつてゐる。

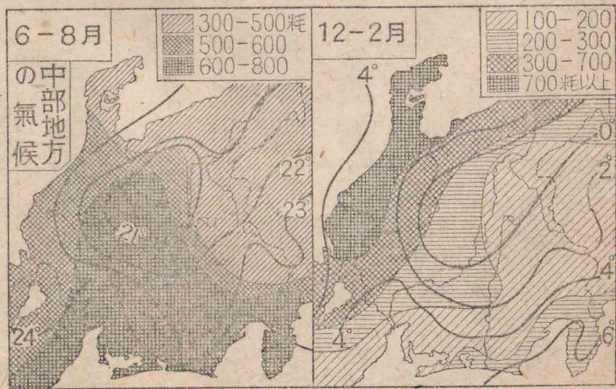
氣候 東海地方は氣候が一般に溫暖で、夏は雨が多い。中央部の高地は氣温が低く、且寒暑の差が稍著しい。又北陸地方は冬季に降雪が多い。
産業處誌 この地方は東海地方・中央高地・北陸地方の三區となる。

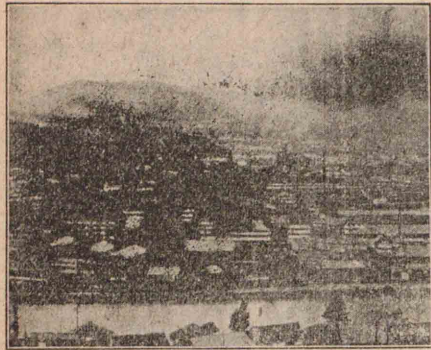
の間には谷や盆地が開け、又多くの河川は高地に源を發して、南流又は北流してゐる。太平洋方面の東海地方は、東部に山勝ちの伊豆半島が突出する外は、一帯の平地と臺地が連なり、西部に豊沃で廣い濃尾平野が開けてゐる。日本海方面の北陸地方にも新潟・富山等の平野が開け、



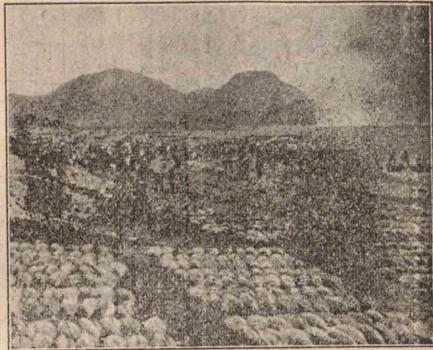
(一) **東海地方** 伊豆半島には熱海・伊東等の温泉があり、駿河灣岸は景色のよい處が多く、共に有名な保養地となつてゐる。海岸地帯の臺地に茶蜜柑三角洲に梨、久能山の南麓に苺の早採栽培が盛である。静岡縣の茶と蜜柑とは、共に産額が日本第一で、茶は静岡で精製され、清水から多くは米國に輸出される。尚静岡の漆器、濱松の紡績樂器等も有名である。

濃尾平野には二毛作が行はれて、米麥の産が多く、人口も稠密で、交通も便利であるから、綿絲・絹布・毛織物・機械・車輛・燒物等、各種の工業が勃興し、中京工業地帯と稱する我が國四大工業地帯の一をなしてゐる。其の中心の名古





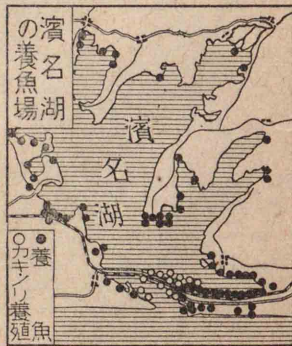
製絲工場の並ぶ岡谷市



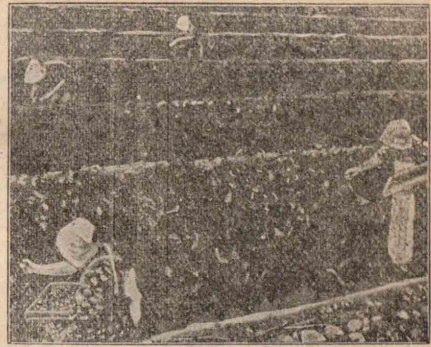
焼津の鰹陸揚

養殖が盛である。

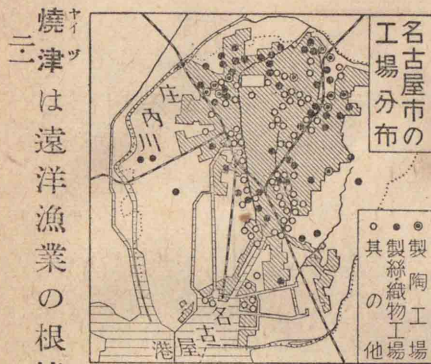
(一) 中央高地 日本一の名山富士や飛驒山脈の諸峰等には、夏季の登山者が頗る多い。山間の谷や盆地には農業が行はれてゐる。米の産は少いが、養蠶が盛で、我が國第一の養蠶地帯をなし、岡谷を始め、松本、長野、上田、甲府等に製絲業が榮え、生絲は主として横濱から輸出される。又長野附近には苹果、甲府盆地には葡萄を多く作り、諏訪湖附近では冬の寒さを利用して寒天を製造する。諸川の上流は発電に適し、我が國第一の發電地帯をなし、京濱、名古屋及び京阪方面に送電し、大町では、これを利用してアルミニウム工業が起



夏が



久能山麓の茸栽培

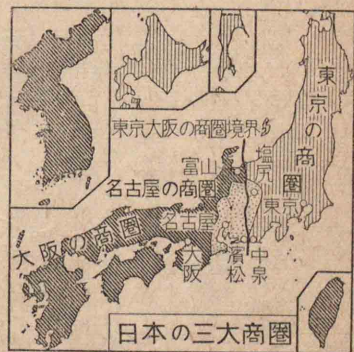


焼津は遠洋漁業の根據地となり、鰹節を多く産する。又濱名湖では鰻の

屋は、大規模の築港が完成して貿易も振ひ、今や人口百萬を超える大都會となり、東京大阪に次ぐ經濟の中心として、其の繁榮は日に盛となりつゝある。

尙この附近一帯には、毛織物産地の一宮、大垣、絹織物産地の岐阜、綿工業地の岡崎、醸造業地の半田、製絲業地の豊橋、重工業地の豊川等、多くの工業都市が興つてゐる。濃尾平野は養蠶業も盛で、又野菜の栽培及び養鶏業も榮え、愛知縣の養鶏は日本第一である。

近海には日本海流が流れて、鰹、鰻等の漁利が多く、

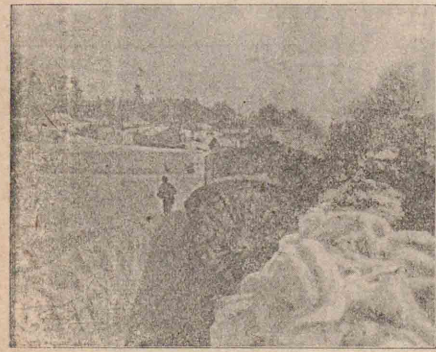


商工都市—名古屋・静岡・濱松
 豊橋・岡崎・大垣・岐阜・富山
 高岡・新潟・長岡・金澤
 織物業地—福井・一宮・小松・大聖寺
 製絲業地—岡谷・甲府・松本・長野
 野上田
 燒物業地—瀬戸・多治見
 漁港—燒津・魚津・小濱

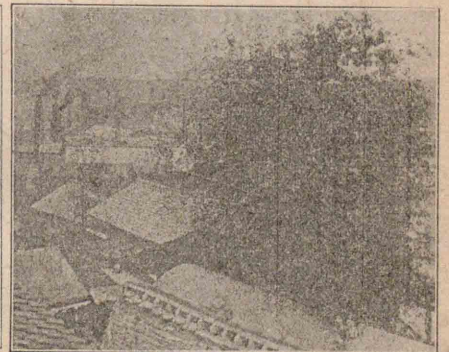
瀬戸に燒物業が盛である。

(三) 北陸地方 諸平野には農業が行はれるが、氣候が裏日本式で、冬に雪が多いから、米作を主とし、麥作は餘り行はれない。それ故、冬は他地方へ出稼^{テセキ}や行商を行ひ、又家内工業が行はれる。行商で名高いのは富山の賣藥である。内地は勿^ム

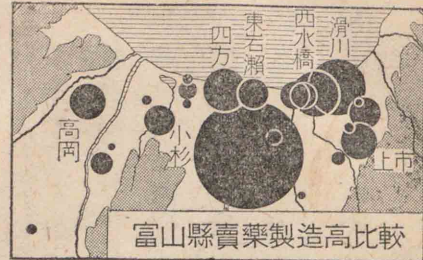
つてゐる。又木曾川の流域附近には森林が多く、扁柏其の他の良材を産し、名古屋に送つて製材される。飛騨高原の北部には鉛・亜鉛を産し、木曾山脈の南端には良質の陶土が多く、多治見^{三三}



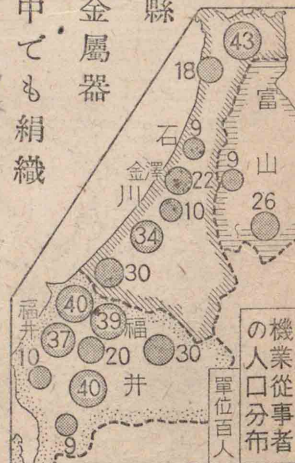
除雪車



瀬戸市

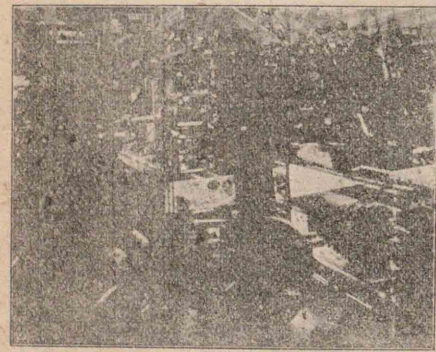


論、滿支・南洋に至るまで數萬の行商人が出て行く。福井・石川・新潟の諸縣に織物、石川縣に燒物・漆器、富山縣・新潟縣に金屬器等の工業が發達してゐる。中でも絹織物は最も名高く、福井・大聖寺・小松・金澤等は、羽二重・人絹織物の大産地である。尙近年富山縣には水力電氣を利用

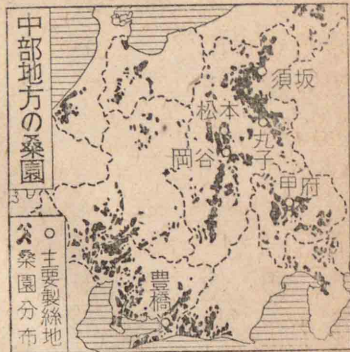


して、アルミニウム・曹達^{ソウダ}・硫安^{リウアン}・紡績等の新工業が勃興した。

鑛産では新潟縣の石油が著しく、新潟・柏崎に製油所がある。近海は漁業が盛で、魚津^{一三五}・小濱^{三三}等は漁港として名高い。金澤は裏日本第一の大都會で、有名な兼六公園がある。高岡・長岡等は何れも工業地、高田は深雪^{シニセツ}で名高い。^{三二}



福井市の羽二重工場



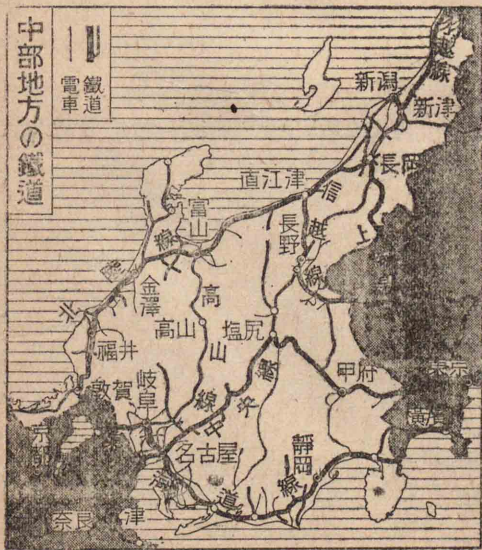
種の近代工業が勃興しつゝある。

農業(米・麥・茶・梨・蜜柑・葡萄・蘋果・苺・野菜・養蠶) 牧畜(鶏) 林業(扁柏) 水産業(鯉・鰻・節・鱈・鱈) 鑛業(鉛・亜鉛・石油) 工業(生絲・絹織物・人絹織物・藥燒物・漆器・綿絲・綿布・毛織物・精鍊製油・硫安・曹達・機械車・輛樂器・寒天・製材・醸造)

交通 位置の關係上、東西の交通が早くから開けた。鐵道の幹線は東海道。

以上のやうに、東海地方は米・麥及び諸種の園藝作物の栽培が榮え、且綿工業其の他の工業が非常に發達し、中央高地は養蠶・製絲地帯をなしてゐる。又北陸地方は米産が多く、機業・製藥業等の外、近時は諸

内地の三分の一以上を産するもの。茶・生絲・鶏卵・原油・絹織物・毛織物・燒物・漆器・寒天



北陸の兩線で、外に中央線・信越線等がある。海運は、南岸は清水・名古屋を中心とし、北岸は、滿洲國・北鮮の發達につれ、これと連絡する新潟・敦賀等の諸港が活氣を呈しつゝある。尙敦賀はシベリアとの連絡上大切である。商業 東京・大阪・二大商圏の接觸地帯で、近年名古屋の勢力も混つて來た。貿易は、横濱・神戸の後背地に過ぎない。

生活特性 東海地方は人口が最も稠密で、名古屋を始め大都市が多く、中央高地は人口・都市の密度が最も小さい。北陸地方は、冬季勞力が餘るので、中部地方の製絲・機業地や、東京・名古屋・京阪地方等に輸送する特徴を持つてゐる。位置の關係上、東西の交通は日に頻繁となるので、東海道線の

市による別							
静岡	静岡	濱松	沼津	清水	熱海	三島	
愛知	名古屋	豊橋	岡崎	半田	一宮	瀬戸	
岐阜	岐阜	大垣	多治見	高山			
山梨	甲府						
長野	長野	上田	松本	飯田	岡谷	諏訪	
新潟	新潟	長岡	三條	高田	柏崎		
富山	富山	高岡					
石川	金澤	七尾	小松				
福井	福井	敦賀					

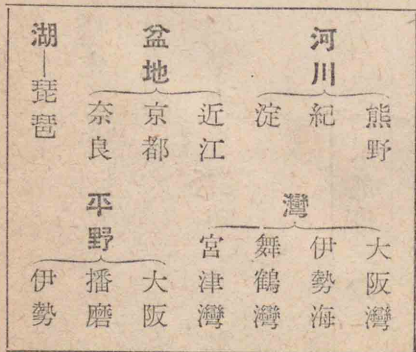
輸送力は次第に行詰りつゝある。故に東京下關間には、更に直通の廣軌線ミカドを敷設する計畫が立てられてゐる。未開發の水力を利用する等、本地方の自然に調和して行くことも急務である。北陸地方は滿洲國の發展につれて、其の連絡上、極めて重要な意義を持つに至つた。

第四章 近畿地方

三、九六万軒 一、三三萬人

自然 位置・地勢 本州の略中央部を占め、産業上交通

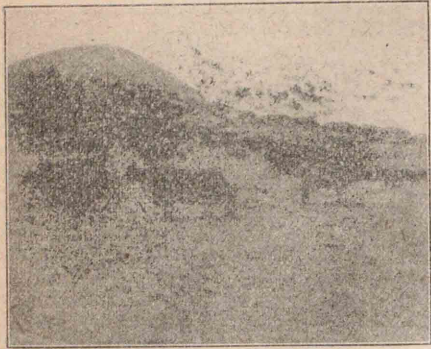
上極めてよい位置にある。北部には中國地方から續く高原性の中國山脈があり、南部には高峻な紀伊山脈がある。そしてこの南北兩山地の間は、多くの盆地・平野が横たはり、處々に山脈がある。



氣候

日本海方面は冬季雪が多く、太平洋方面は溫暖で、夏季は非常に雨が多い。中央部の氣候は稍複雑である。即ち伊勢海方面は溫和であるが、盆地は概して寒暑の差が大きく、又瀬戸内海の沿岸地方は溫暖で雨が少い。

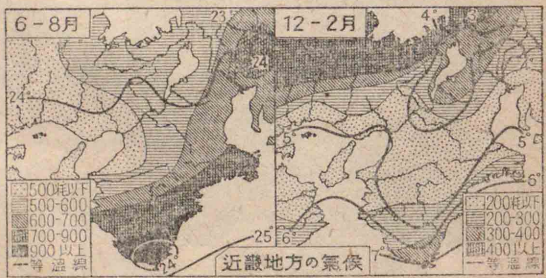
産業處誌 地勢上、中國山地・中央低地・紀伊山地の三區に大別される。



近畿地方

中國山地の牧牛

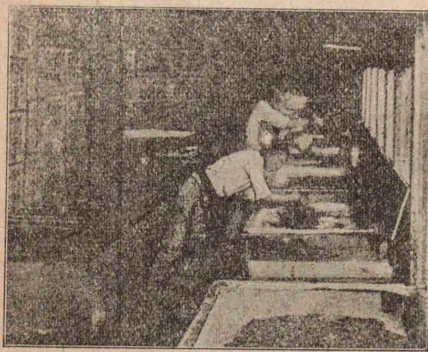
(一) 中國山地 原野が多く、牧牛が盛に行はれてゐる。又西部の生野には錫銀銅鑛を産する。川筋の谷や盆地には農業が行はれるが概ね米の一毛作で、冬は男子の出稼が多く、又副業として織物業や、豊岡地方の柳行李が發達した。海岸には小出入があつて、舞鶴灣は軍港に利用され、宮津灣内には天橋立が



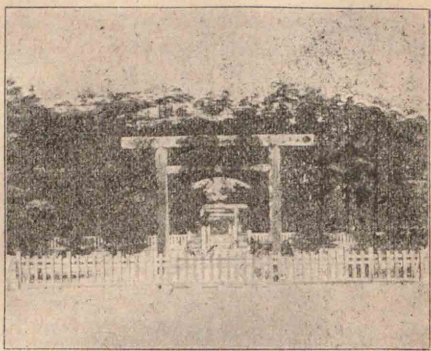


有名である。
琵琶湖の水は灌漑に利用される外湖畔の人絹其
他の工場の工業用水となり、又発電にも用ひら
れる。又これから流れ出る淀川と共に、交通上に

ある。
(一) 中央低地 盆地平野は、何れも農業が盛て
ある。氣候がよいので、一般に二毛作が行は
れ、裏作には麥の外菜種も多く作られる。雨
が稍少いので、到る處灌漑の設備はよく行届
いてゐる。大都會が多いので、野菜や果物の
産も多く、大阪府の玉葱、葡萄、奈良縣の西瓜等
は殊に名高く、京都附
近に茶筍の産も多く、
宇治茶は良質を以て



宇治の製茶

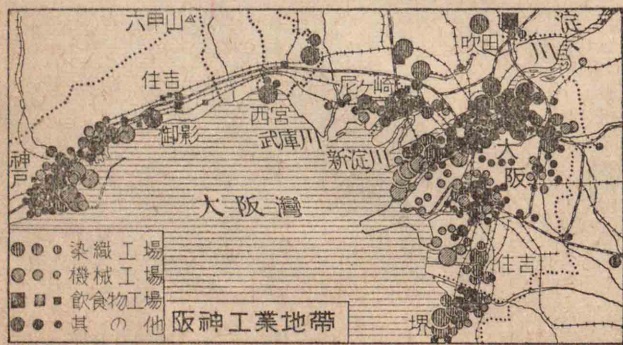


桃山御陵

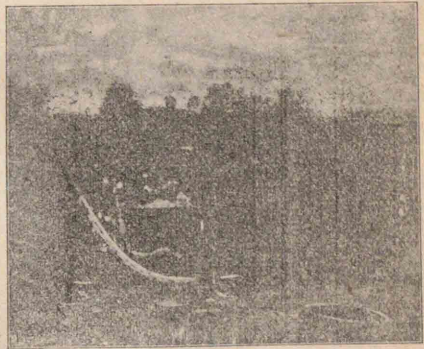
も昔から利用されてゐる。
奈良盆地は、神武天皇御陵、橿原神宮を始めと
して、最も史蹟に富んだ地方で、奈良は遊覽都市
となつてゐる。

山城盆地の中心京都は、
桓武天皇以來千餘年間の
帝都であつた處で、神社・佛
閣・名勝・史蹟が多く、且學問・美術・工藝の中心であり、西
陣織・友禪染・清水焼・京都塗等の名産がある。市の南
部には桃山御陵がある。

大阪灣沿岸は前に瀬戸内海を控へ、大阪平野を背に
して、水陸の交通が至便であり、且大阪は昔から商業
の大中心であつたから、近代式大工業が勃興し、南は
堺・岸和田、西は尼崎・西宮・神戸に至るまで、紡織・機械・金



一四一 三九 近畿地方 五九 九二



友禪染の乾燥

属化學造船其の他各種の工場が立並び我が國有數の大工業地帯をなしてゐる。

大阪はこの工業地帯の中心で、東京に次ぐ大都である。其の中心部は商業區をなし、河岸から

海岸方面は工業區となつてゐる。大阪・神戸間

は交通が最も

頻繁で、其の背

後の六甲山塊の麓は、風景のよい住宅地

帯となつてゐる。播磨平野の海岸地方

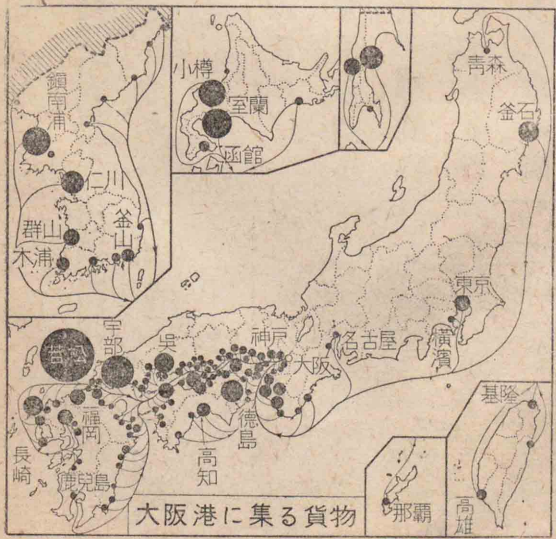
も亦工業が盛で、明石・加古川・姫路・西脇等

何れも毛織物綿織物等を産する。又飾

磨は紡績マツチ、廣畑は製鐵工場で知ら

れる。伊勢海沿岸は、中京工業地帯の續

きて、工業が榮え、桑名・四日市・津・松阪等は



商工都市—大阪・京都・神戸

工業地—西宮・尼崎・堺

岸和田・明石・加古川・姫

路・飾磨・大津・海南・桑名

綿工業地—四日市・津和歌

山西脇松阪

神 都—宇治・山田

遊覽地—奈良・京都

其の中心である。宇治・山田には 皇祖を奉祀する皇大神宮がある。

(三) 紀伊山地 紀伊山地には、森林がよく繁茂して杉や扁柏の良材を産し、新宮は其の集散地である。吉野川の谷はこの部の主要生産地帯で、

川の兩側に米田が開け、丘陵に蜜柑が作られる。この地帯の出口にある和歌山は、綿絲綿織物の

産と製材とに名高く、海

南は漆器の産地である。

海岸は平地に乏しいが、氣

候が温暖であるから、梅蜜

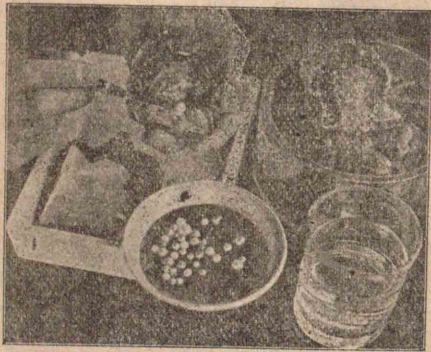
相等の果物が多く、除蟲菊

も栽培される。又漁港が

多いので、近海・遠洋の漁業も榮え、鱈・鯉・鮪等が獲れ



近畿地方



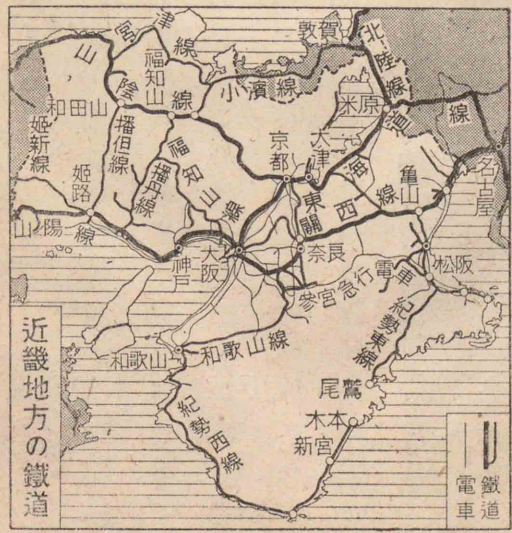
養殖眞珠の採取

内地の三分の一以上を産するもの
綿絲綿織物・麻織物・メリヤス人絹
ゴム製品帽子・ビール

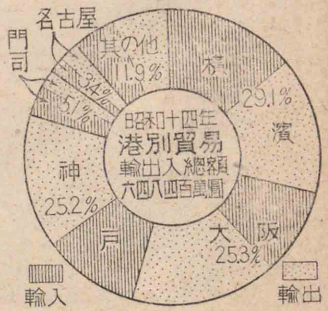
共に、我が國第一の工業地帯をなし、紀伊山地には林業・水産業が盛である。

- 農業 米・麥・菜種・西瓜・玉葱・蜜柑・葡萄・梅・除蟲菊・養蠶
- 牧畜(牛)
- 林業 杉・扁柏・竹
- 水産業 鱒・鯉・鮪・鹽・眞珠
- 鑛業 銀・銅・錫
- 工業 柳行李・人絹織物・燒物・漆器・綿絲綿織物・毛織物・製鐵機械・金屬造船・マテ製材

交通 久しく政治文化の中心であつたため、交通が発達し、今は阪神工業地帯の發達と共に、交通網が著しく開けた。航空路は、大阪を中心とし、海運は、神戸・大阪が大中心である。



商業 大阪は、安價實用的の商品によつて、全國第一の商業市となり、其の商圏は全世界に及んでゐる。神戸は棉花の輸入が多く、大阪は綿製品の出産が多い。四日市は、縹綿を輸入し、綿絲・綿布を輸出する。



生活特性 本地方全體の人口密度は關東より小さいが、中央低地の人口密度は關東平野よりも大きい。阪神工業地帯の周圍には野菜栽培が盛に行はれ、其の外方には、保養・遊覽・週末旅行地が多く、中心部と周邊部とが密接な關係を保つてゐることは、關東地方と同様である。

本地方は我が國經濟の大中心として、心臓にも譬ふべき地域である。人口が多いから、食料や燃料は他地方に仰がねばな

府縣別	市	滋賀
和歌山	和歌山・海南・新宮	大津・彦根
奈良	奈良	津・桑名・四日市・宇治山田・松阪・上野
兵庫	神戸・姫路・尼崎・西宮・飾磨・明石・洲本	京都・東舞鶴・舞鶴・福知山
大阪	大阪・堺・布施・岸和田・豊中・吹田・池田	京都・東舞鶴・舞鶴・福知山

らぬが、工業の盛なことは全國第一で、殊にアジア大陸經營の基地として、將來益、重要な地位に立つてあらう。

第五章 中國地方

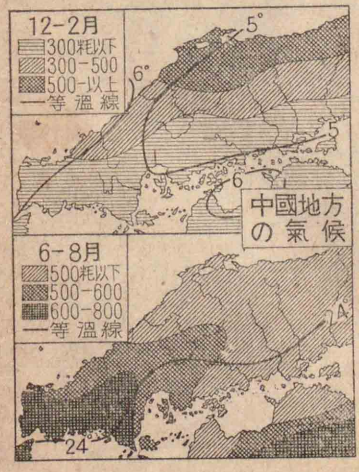
三、六克方籽「一八二八人
五、萬人」

山脈	中國
火山	大山
旭	河川
大田	江
夜見濱	海岸
中海	島嶼
隱岐島	

自然 **位置・地勢** 本州の西南部を占め、九州と近畿との中間にあつて、古來重要な交通路に當つてゐる。中央に中國山脈があつて、山陰・山陽兩地方を分つてゐる。山陰地方は平野に乏しくて、海岸の出入が少い。山陽地方は岡・山平野を始め、小平野が多く、海岸は出入に富み、島嶼も非常に多い。

氣候 山陰地方は冬季雪が多く、山陽地方は晴天が多く、本州中で最も雨量が少い。

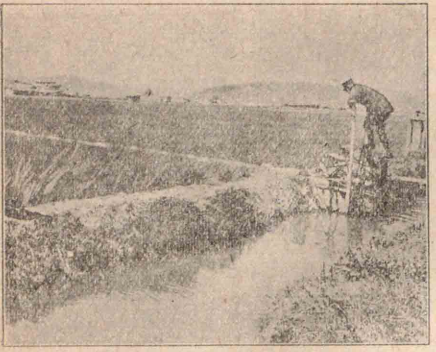
産業處誌 山陰・山陽の二區に分けて述べる。



工業地 廣島・岡山・倉敷
福山・三原・岩國・徳山
下松・宇部・防府・下關
商業地 廣島尾道・下關
鳥取・松江
軍港 吳

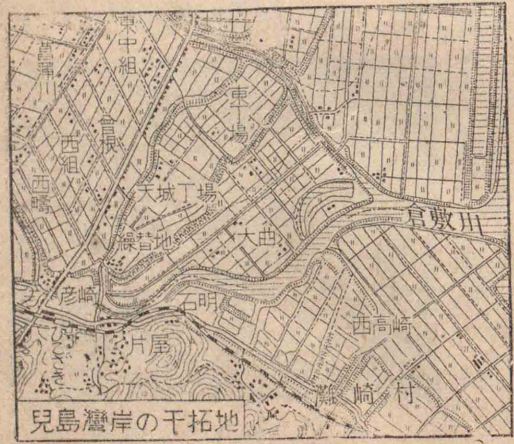
一 山陰地方 冬の雪が農業を妨げる。養蠶が稍盛で、鳥取縣には梨の産が多い。鳥取・松江等、何れも地方的な小都市に過ぎないが、近時米子に特殊鋼・江津に人絹・人織の工業が起つた。大社には出雲大社がある。海上は漁業が稍盛で、隱岐島の西郷は漁港として名高い。

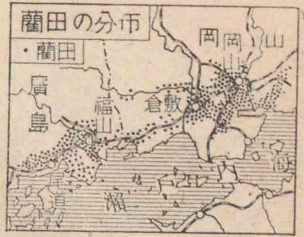
二 山陽地方



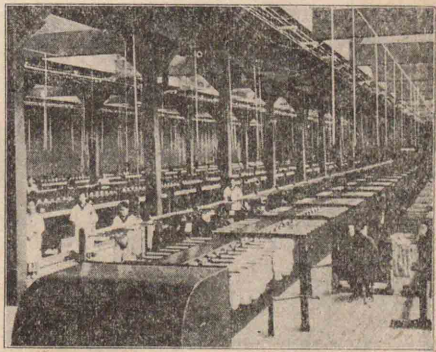
岡山平野の圃田

早くから開け、開拓も進んで農業がよく行はれ、丘陵の斜面も階段状に耕されて、米・麥を始め、蜜柑・桃・梨等の果實や、薄荷・除蟲菊等が多く作られる。又、蘭が栽培され、壘表や花筵に製

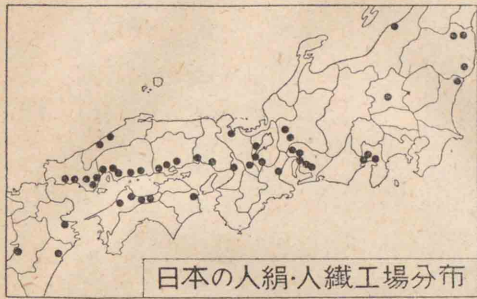




造される。宇部には炭田があり、大嶺には無煙炭を産し、柵原には硫化鐵礦が出る。岡山・倉敷・福山等には紡績業が行はれ、倉敷・三原・廣島・岩國・防府等では清澄な河水を利用して人絹工業が起つた。又廣島吳附近には機械工業も榮え、下松・徳山・防府・宇部等には機械造船及び化學工業等が勃興した。下關は水陸交通の要點、米水産物の大集散地で、造船硫酸等の工業が行はれる。廣島はこの地方第一の大都で、戦役事變に際しては、特に重要な役をつとめてゐる。罐詰と針との産に名高く、附近には牡蠣の養殖が盛である。又近くに風景のよい嚴島がある。吳は軍港で、鎮守府があり、尾道は商港である。内陸部は平地に乏



岩國の人絹工場



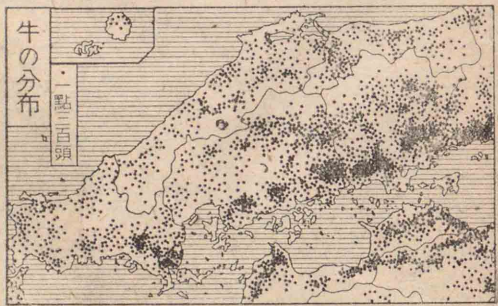
日本の人絹・人織工場分布

しいが、高原を利用して牧牛が榮え、優良な牛の産地として名高い。内地の三分の一以上を産するもの。牛肉罐詰、花筵、疊表、眞田。牛水産業等が榮え、特に近時は諸種の近代工業が発達して、一大工業地帯とならうとしてゐる。

これを要するに山陰地方は農業を主産業とし、牧牛・漁業も行はれるが、工業の發達は不十分である。これに對して、山陽地方は農業・牧

牛水産業等が榮え、特に近時は諸種の近代工業が発達して、一大工業地帯とならうとしてゐる。

農業(米・麥・桃・梨・蜜柑・蘭・除蟲菊・薄荷・養蠶) 牧畜(牛) 水産業(鯛・鱒・牡蠣・鹽)

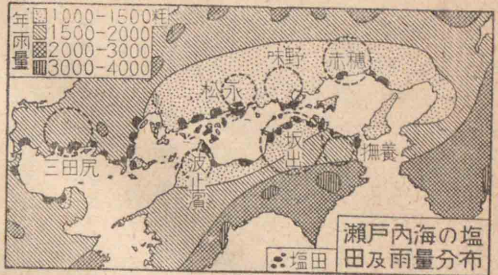


牛の分布

農業(米・麥・桃・梨・蜜柑・蘭・除蟲菊・薄荷・養蠶) 牧畜(牛) 水産業(鯛・鱒・牡蠣・鹽)
鑛業(硫化鐵礦・石炭・花崗岩) 工業(疊表・花筵・人絹・人織・紡績・機械・特殊鋼・造船・硫酸・針・罐詰)

瀬戸内海

海岸は複雑に屈曲し、島が極めて多く、波が靜かで、最も古くから交通に利用され、今は世界航路の一幹線となつてゐる。其の長汀曲浦、白砂青松の絶景は、海上公園の名に相應しい。多くの海峡、殊に鳴

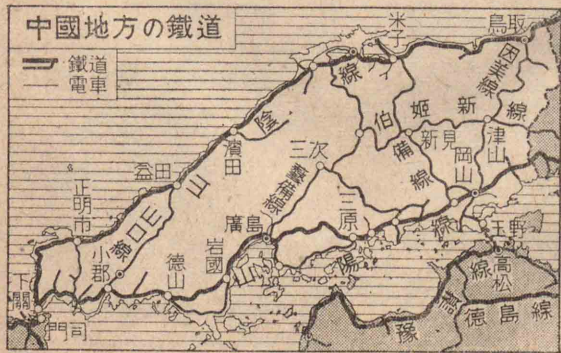


門海峽は、潮流が急である。沿岸の地方は、平地に乏しいが農業はよく行はれ、海岸には鹽田も多く、島々は蜜柑の産に富み、花崗岩の名産地で、又海には鯛・鱒等が多く獲れる。住民は一般に航海に慣れ、海員として活動する者が多く、又南米其の他への移住者も多い。

交通 山陰山陽の二線は、瀬戸内海の水運と共に、近畿九州間の重要な廻廊となり、交通が頻繁である。横断線も諸處に通じてゐる。航路は、四國九州朝鮮との間によく發達してゐる。

商業 大阪の商圏に屬し、貿易は多く神戸を経て行はれてゐる。

生活特性 山陰は早くから出雲地方に文化が開けたが、今では人口が少く、諸産業の發達も後れてゐる。



市		よる		縣別	
鳥取	鳥取米子	島根	松江濱田	岡山	岡山倉敷津山玉野
廣島	廣島吳福山三原尾道	山口	下關宇部岩國防府下松徳山萩山口小野田		

これに比し、山陽は水陸の交通が便利で、文化傳達の意義を持つと共に、近時は工業地として活況を呈しつつある。従つて山陽地方は人口密度が大で、海外に發展する者が多い。國勢が大陸方面に伸びると共に、廻廊としての山陽の役目は益々重要を増し、神戸下關間の新鐵道や、朝鮮海峽の海底トンネル等も計畫されてゐる。山陽地方は工業的條件に恵まれ、この方面に於ける將來が期待されるが、早魘や洪水の害を少くするため、造林と河川の改修とを急務とする。

第六章 四國地方

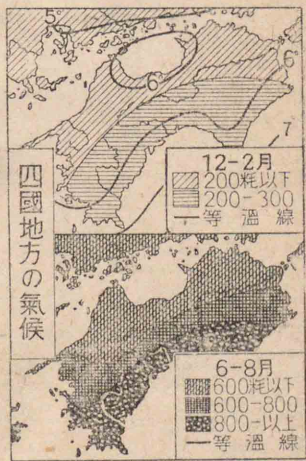
一、七三万軒 一、七万人

自然 位置・地勢

近畿九州兩地方の中間にあるが、離れ島であるため、稍孤立的である。中央に四國山脈があつて、北四國と南四國とを分つてゐる。

山脈	四國	劍山
河川	吉野	石鎚山
海岸	豊後水道	紀伊水道

北四國には讃岐山脈と讃岐・松山・徳島の諸平野とがある。南四國は山勝ちで、僅かに高知平野が開けてある。

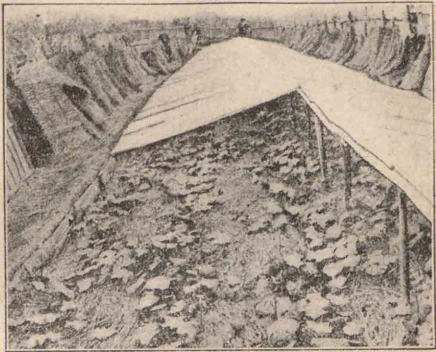
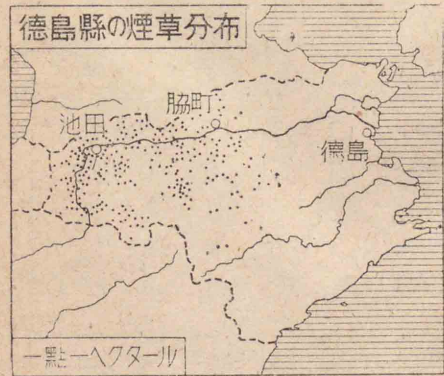


氣候 北四國は溫和快晴で雨量が少く、南四國は溫暖多雨である。
産業處誌 北四國・南四國の二區に分つて説明する。

(一)北四國 平野には一般に米田が開けてあるが、徳島平野は礫層が多いので水田は少く、煙草桑等の栽培が盛である。讃岐平野は、雨が少いので灌漑用溜池が多い。海岸では製鹽業が盛で坂出が其の中心となつて

織物業地	松山・今治・徳島
和紙産地	高知・伊野
製鹽地	坂出
交通要地	高松

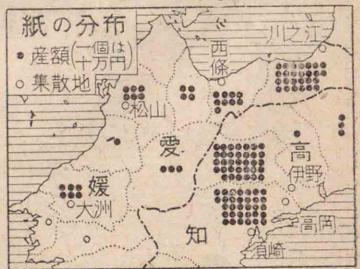
出が其の中心となつて

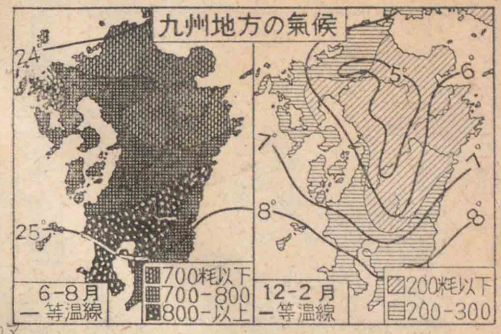


高知縣の促成栽培

布を産し、新居濱には化學機械等の工業が行はれる。琴平には金刀比羅宮がある。道後の温泉は古來名高い。
(二)南四國 山地には杉・扁柏等の森林が茂り、平地には米の二回作や野菜の早期栽培が行はれる。又楮・三椏が栽培され、和紙の産は全國第一で、伊野は其の中心である。高知附近には石灰岩が多く、セメントを産する。近海は漁業が盛んで、鯉・鰯等が獲れ、土佐節は世に名高い。西岸の宇和島

内地の三分の一以上を産するもの
食鹽和紙
ある。丘陵
や島には蜜
柑を産する。





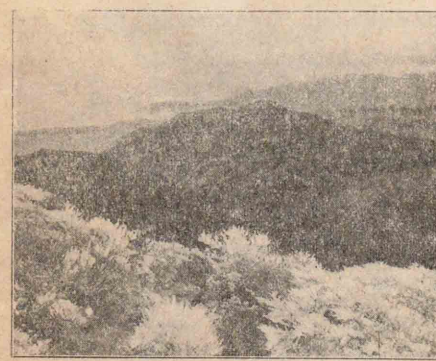
て特に琉球列島は亞熱帶性氣候を呈し又初秋の頃には颱風の襲來が多い。

産業處誌 北九州中九州南九州南方諸島の四區に分つて述べる。

(一)北九州 筑豊唐津長崎三池の諸炭田があり海岸には良港が多くて交通の便もよいので大工業

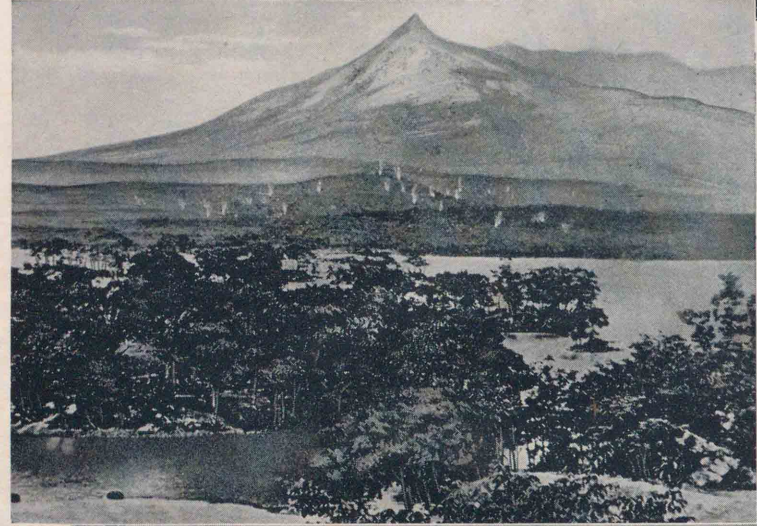
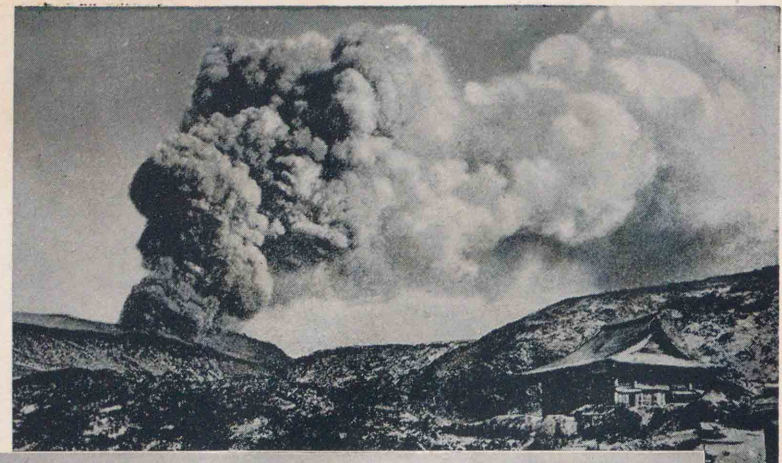
別府雲仙等の温泉を伴つてゐる。南九州には高峻な九州山脈があり更に其の南側には霧島火山脈に屬する霧島山櫻島等の火山が噴出してゐる。南方の海上には薩南諸島と琉球列島とが連なり其の内側に火山島がある。

氣候 北岸地方は冬季曇天が多い。瀬戸内海の沿岸地方は温暖少雨で西部の熊本平野は稍寒暑の差が著しい。南部は高温多雨



雲仙岳の霧氷

阿蘇山



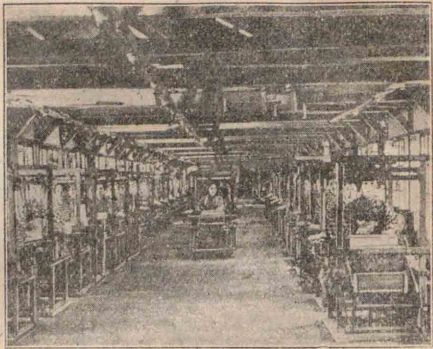
大沼

昭和十六年八月十二日津輕要塞司令部許可済

金剛山

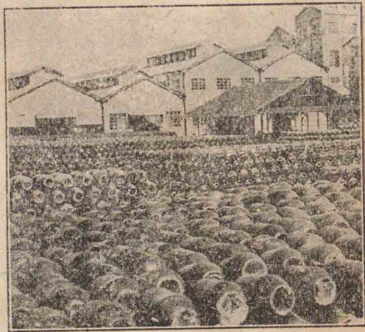


の工業が盛である。福岡はこの地方に於ける商業交通の中心で、國際空港を有する。筑紫平野には、米菜種の産が多く、佐賀で集散され、又諸處に良質の酒を産する。西部の海岸は良港に富み、商港の長崎、軍港の佐世保があり、附近一帯は水産業が盛で、長崎は其の大集散地をなす。長崎は又上海に渡る要津である。雲仙岳は温泉と風景とに恵

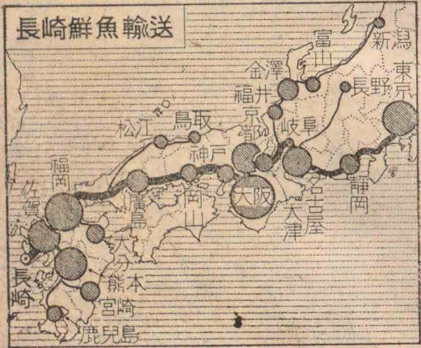


久留米緋工場

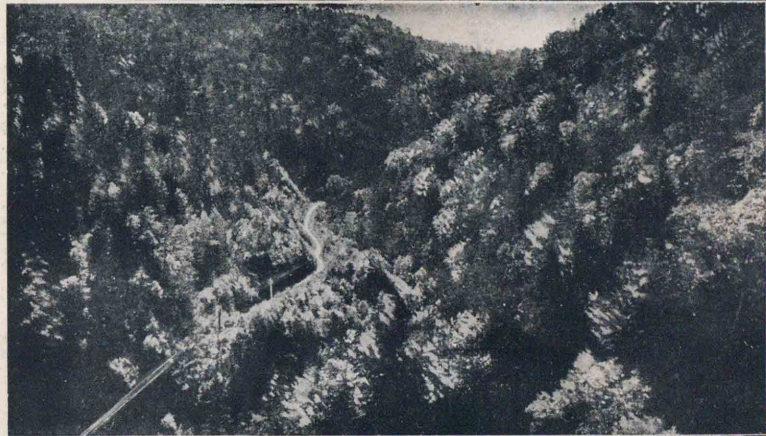
地帯となつた。こゝにある門司、小倉、戸畑、八幡、若松の五市は一續きの大工業都市で、東洋第一の八幡製鐵所を始め、硝子、セメント、機械、其他の工場が頗る多く、福岡、久留米、大牟田にも各種



水俣の窒素肥料工場



臺中市のバナナ市場

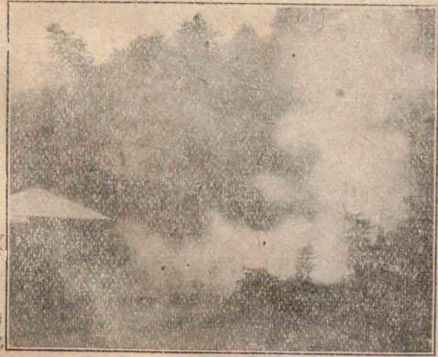


樺太の森林



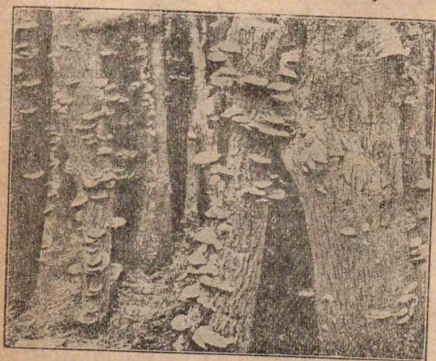
南滿洲鐵道株式會社

昭和十六年八月六日旅順要塞司令部許可済



別府温泉

まれ、外人の來遊も多い。一般に臺地丘陵地を
利用して甘藷の栽培が盛である。
(二) 中九州 火山の裾野は牧場に利用される。
温泉が頗る多く、中でも別府は最も有名である。
熊本平野には良質の肥後米を産し、臺地は畑と
なつて麥甘藷粟等が栽培される。熊本は平野
の中心都市である。海岸にある八代は人絹洋
紙・セメント、水俣は硫安を産する。瀬戸内海の沿
岸には蜜柑や七島蘭が作られ、壘表が生産される。
又鯛生其の他の金山があり、佐賀、關には金銀銅の
精鍊所がある。大分は交通の要地である。
(三) 南九州 森林がよく繁茂して木材や竹材を産
し、五箇瀬川・大淀川等の急流は發電に利用されて
ゐる。又臺地が多く、甘藷煙草粟等の栽培が盛で、



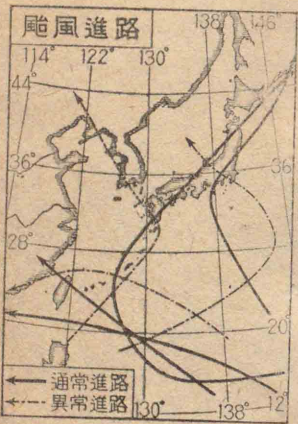
九州山地の椎茸栽培

港 若松 門司 三池 長崎 唐津
工業地 門司 小倉 戸畑 八幡
若松 佐賀 關延岡 福岡 久留
米 大牟田 長崎 八代 水俣
商業地 福岡 熊本 佐賀 大分
宮崎 鹿兒島 那覇 大分
交通要地 門司 長崎 福岡



酒精の醸造業も起つた。又牛馬の牧畜も行
はれ、西部には金の産地が多い。

鹿兒島はこの地方の中心で、宮崎には生絲、延岡には硫安、曹達、人絹等の工
業が行はれ、又宮崎には宮崎神宮がある。海上には暖流が流れて、鯉其の
他の漁利が多く、鹿兒島縣の鯉節は殊に有名で、
枕崎は其の中心である。
(四) 南方諸島 颱風の災害を防ぐため、家を低く
し、其の周圍には石垣をめぐらすものが多い。
本土と離れてゐるから、住民の言語や風俗には



特異の點が多い。甘藷を作つて常食とし、甘蔗を植ゑて黒砂糖を製する。名瀬は大島紬、那覇には緋夏帽子を産する。

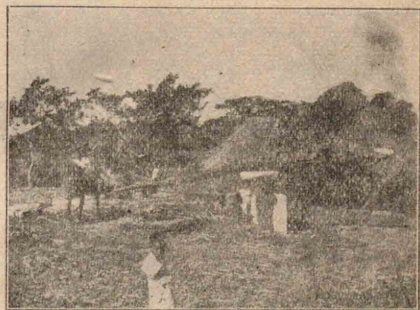
かやうに、北九州は米麥等の農産と石炭との産に富み、又製鐵其の他の近代工業が頗る盛である。南九州は畑が多くて、甘藷粟等の栽培が榮え、又貴金屬の

内地の三分の一以

上を産するもの

粟菜種甘藷稗麥
鯉節石炭

産と牛馬の牧畜とに名高い。そして中九州は産業上、北南兩九州の中間の性質を持つてゐる。概して本地方は諸種の産業がよく發達して、我が國の一大寶庫をなしてゐる。



琉球の製糖小屋

農業(米麥粟菜種甘藷甘蔗煙草櫛七島蘭養蠶 牧畜(馬牛) 林業(木材竹材)
水産業(鯉鯉節) 鑛業(石炭金銅) 工業(製鐵精鍊硝子セメント機械人絹洋紙硫安曹達酒酒精疊表砂糖織物生絲)

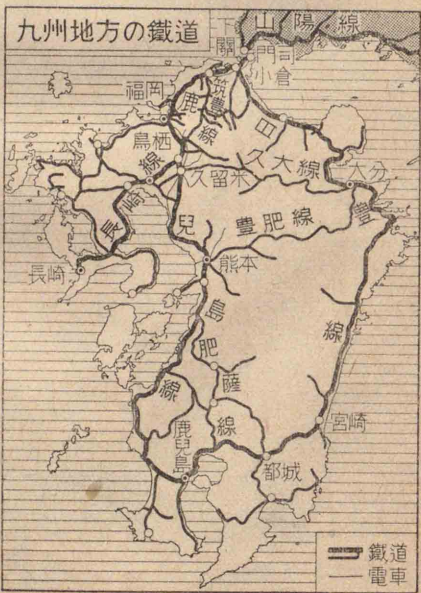
交通 鹿兒島日豊二線は續いて環狀

線をなし、外に豊肥長崎等の諸線がある。海運は北西岸が盛で、門司長崎鹿兒島は本地方の要津である。

商業 北九州は頗る活氣を呈し、遠く阪神東京滿鮮支那等と取引してゐる。外國貿易は、門司(關門港の一部)長崎を中心とし、外に十開港がある。

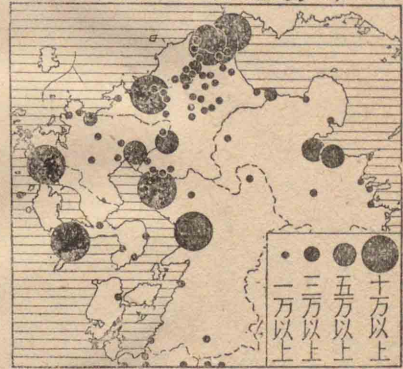
生活特性

概してこの地方は自然に恵まれ、各種の産業がよく發達して、經濟上重要な地位を占めてゐる。而も大陸への要衝を占めてゐるから、我が國と大陸との關係が密接となるにつれ、其の重要性は將來愈加はるであらう。北西部は、夙に外國との交通が開け、近年は工業が發達して、我が國に於ける文化地帯の西端をなしてゐる。其の人口は急激に増加し、多くの工業都市炭坑都市が起つた。南東部は、早く神代に開けたが、近代



市による別						
沖繩	鹿兒島	宮崎	熊本	大分	長崎	福岡
那覇首里	鹿兒島川内鹿屋	宮崎都城延岡	熊本八代	大分別府中津日田佐伯	長崎佐世保島原諫早	福岡八幡大牟田小倉門司若松戸畑久留米直方飯塚

北九州の都邑分布



工業を招く要素に乏しく、人口が疏く、農林業型の聚落が多く、裏九州としての生活景を呈してゐる。

第八章 臺灣地方

五、六二方料 一、二三人 五七萬人

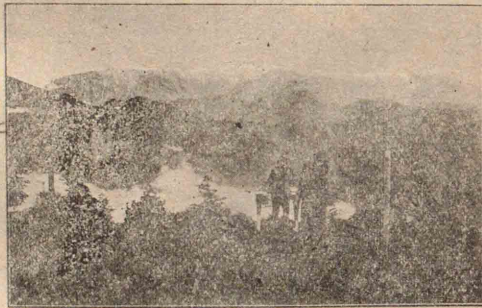
自然 位置・地勢

支那福建省及び米領フィリピンに近く、我が國南方の生長尖端で、形勝な位置を占めてゐる。中央に我が國最高の臺灣山脈が連なり、脈中に新高山、次高山等の諸高峰が聳えてゐる。其の西方には蕃界

山脈	臺灣	新高山
次高山	淡水河	
濁水溪		
下淡水溪		

嶺があつて、臺灣山脈との間に縦谷を挟んでゐる。

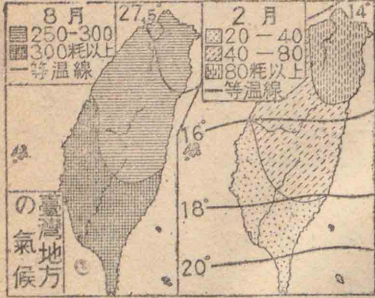
これ等の山地に源を發して西流する諸川は、多くの分流を生じて網目狀をなすものが多く、其の流域に廣い臺灣平野を造つてゐる。北部には大屯火山群がある。東部には臺東山脈があり、臺灣山脈との間に臺東縦谷を挟んでゐる。



阿里山から見た新高山

氣候

亞熱帶性氣候で、冬は北季節風のため北部に降雨が多く、夏は南西季節風のため南部に雨が多い。初秋には屢颱風が通過して多大の被害を及ぼす。

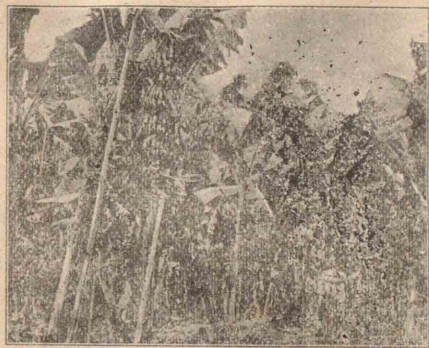


産業處誌 中央山地、臺灣平野、東部臺灣の三區に分つて説述する。
 一、中央山地 阿里山、太平山等は木材の産で名高く、日月潭の水は發電に利用される。山麓附近には樟腦を産する。金産は近時漸く開發の緒についた。

商工業地—臺北新竹臺南
港—基隆高雄花蓮港
糖業地—臺中嘉義屏東

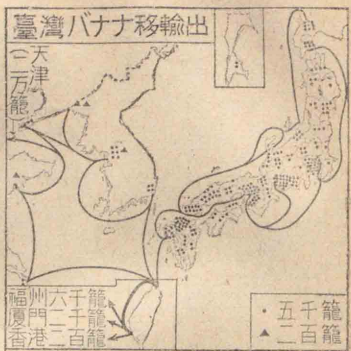
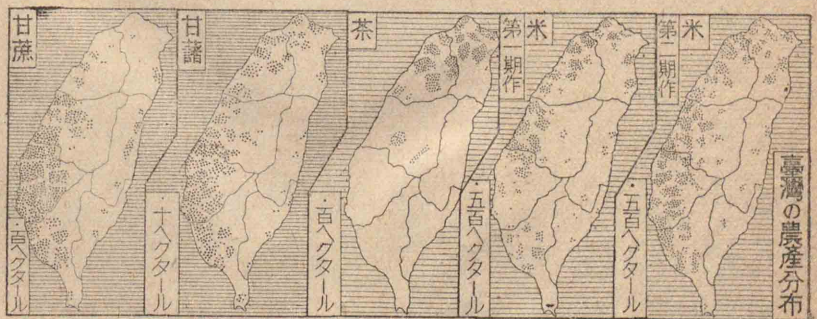
(一) 臺灣平野 北端には本島最大の門戸、基隆があり、附近に石炭、金を産する。

北方の海に鯉が捕獲され、基隆で鯉節とする。臺北は政治學術商工業の中心で、茶と樟腦との精製が盛である。桃園・新竹附近では茶を多く栽培し、苗栗附近に石油を産する。臺中附近はよい米を産して内地にも送り、又バナナの主産地となつてゐる。嘉義附近から南は甘蔗の主産地で、嘉義・臺南・屏東等に製糖工場があり、高雄から盛に積出す。近時は糖蜜から酒精を醸造し、バガス甘蔗のしぼりかすからパルプを製造し



園バナナ部の

てゐる。大規模の灌漑工事が完成して、廣く米の二回作が出来、又甘藷の産が多い。高雄は本島の南門で、アルミニウム精鍊、其他の工業も行はれる。海岸は一般に良港に乏しく、低濕な地帯では養魚や天



てゐる。大規模の灌漑工事が完成して、廣く米の二回作が出来、又甘藷の産が多い。高雄は本島の南門で、アルミニウム精鍊、其他の工業も行はれる。海岸は一般に良港に乏しく、低濕な地帯では養魚や天



日製鹽を行ふ。

澎湖諸島 臺灣海峡を扼する軍事上の要地で、中央に馬公の良港がある。

(三) 東部臺灣 臺東縱谷は近時開拓が稍進んで來た。

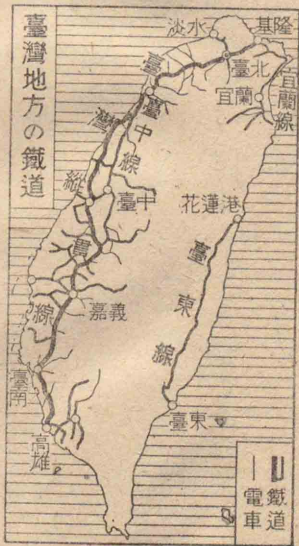
殊に最近花蓮港の築港が出来て交通が便利になり、諸種の工業も起つて來た。

要するに中央山地は鑛林産區をなし、臺灣平野は大農業區で製糖・製茶等も榮えてゐる。

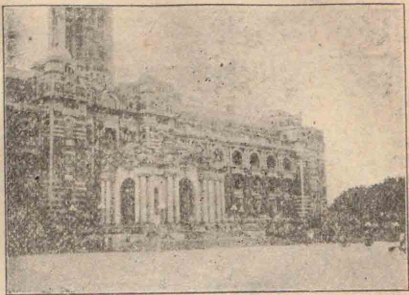
全國の三分の一以上を産するもの
パイナップル・バナナ
ナ・砂糖落花生・豚樟腦

農業米甘蔗甘藷茶バナナ 林業木材 水産業(鯉節養魚鹽)
鑛業(金石炭石油) 工業(砂糖酒精パルプ製茶樟腦アルミニウム)

交通 鐵道は臺灣平野に發達し、縱貫線
を幹線として、林業地製糖地には輕便鐵
道が開け、東部には臺東線がある。航路
は基隆・高雄を中心とし、支那型船(ジャンク、
竹筏)も用ひられる。



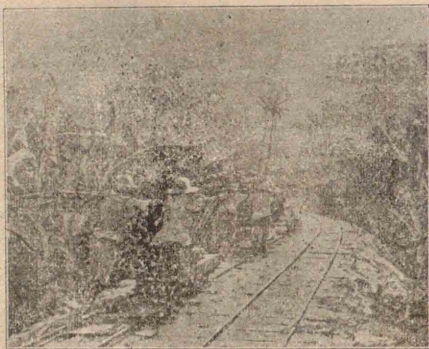
商業 商業は臺北を中心とし、貿易は基隆・高雄二港で其の大部を占めて
ゐる。支那に對し、特別開港場(後龍・鹿港・東石)が設けられてゐる。
住民 大部は本島人(漢族)で臺灣平野に多く、原住民の高砂族は山地に住
む者が多い。内地人は少いが、他の種族を指導する地位にある。
政治 臺北に臺灣總督府があり、其の下に五州三廳がある。州の下に市
郡廳の下に支廳がある。



臺灣總督府

生活特性 我が南方發展の足場で、又熱帶性農林産
物の一大寶庫である。人口は西部の平野に集中し
て都會もこの方面に多いが、概ね海岸から離れて水
運の便がない。東部には未
開拓の處もある。中央山地
の交通を開き、森林や水力の
利用を一層進め、海岸に築港
して工業の發達を促すことは、頗る急務である。

附 新南群島 フリビンの西方にあつて最近高雄
市の管轄となり、燐礦が採掘されてゐる。



新南群島の燐礦採取

第九章 南洋群島地方

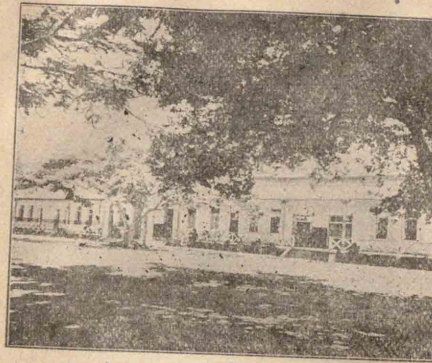
二、一〇方人
三、二萬人

小笠原諸島の遙か南方、廣い區域に散布する千五百餘の小島から成り、元
ドイツ領であつたが、世界大戰の結果、我が國の領土となつた。大富源は

南洋群島地方

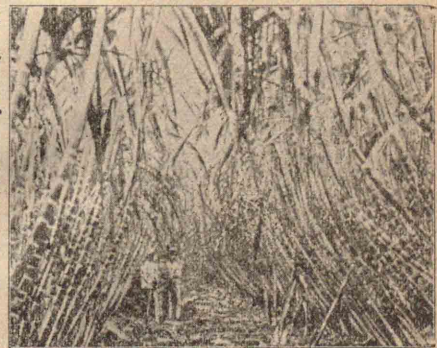
ないが、我が南方發展上及び國防上、非常に重要な處である。

マリアナ・カロリン・マーシャルの諸群島から成り、大部は火山島又は珊瑚島である。氣候は熱帶性であるが、海風と驟雨とのために凌ぎ易い。土人はチャモロ族とカナカ族とである。近時内地人の移住が激増し、サイパン島其の他で甘蔗の栽培が盛

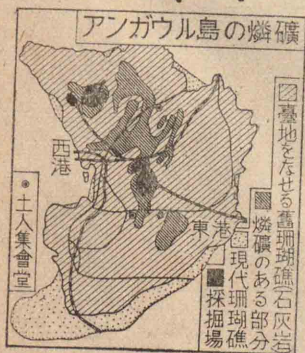


アイバン實業学校

になり、製糖・酒精醸造が行はれる。又アンガウル島には燐礦、バラオ島にはボーキサイト、各地にコブラを産する。尙鯉漁業が極めて盛で、蝶貝の産もある。コロール島に南洋廳があり、東京との間に汽船及び飛行機の往來がある。



南洋の甘蔗園

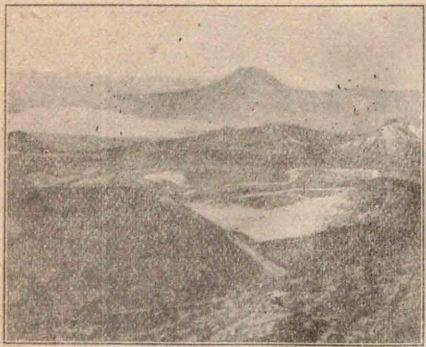


第十章 北海道地方

六、七五方籽
三七萬人 毛人

自然 位置・地勢 奥羽地方の北方に位し、北海道本島

と千島列島とから成る。西部は半島をなし、那須火山脈が通じて火山が多く、平地に乏しい。この半島の東方には広い平野が開け、石狩川がこゝを潤してゐる。平野の東方には蝦夷山系が南北に走り、其

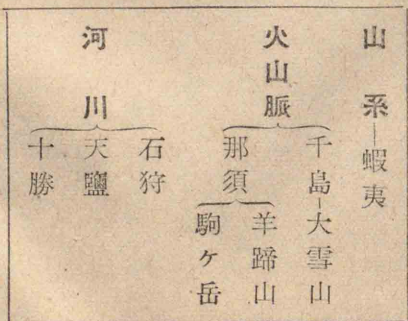


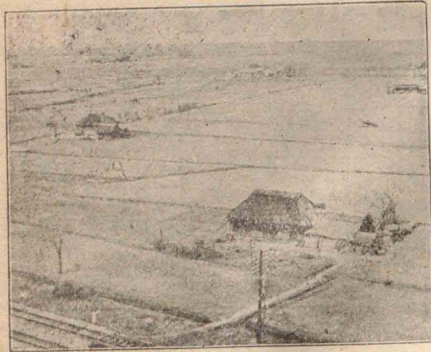
北海道地方

雄近の山地間に上川其の他は、遠景の盆地がある。山脈の頂上には千島火山脈の諸火山があり、風景のよい處が多い。オホーツク海方面には北見平原、太平洋方面には臺地性の十勝其の他の平原がある。

氣候

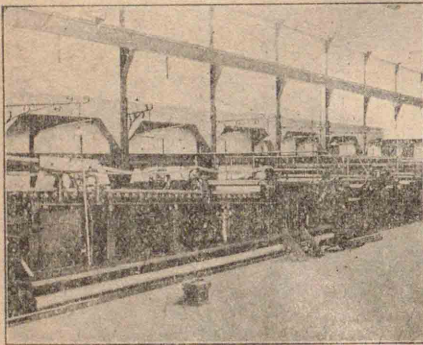
一般に冷涼で冬が長い。海流の關係





石狩平野

札幌は整然たる都市で、政治學術商業の中心地



苫小牧の製紙工場

養が盛である。近く石狩炭田を控へ、交通の便もよいので、其の地に産する原料を利用して、紙ビ



豌豆、麥、馬鈴薯、玉蜀黍等の産が多、平野では馬牛等の飼

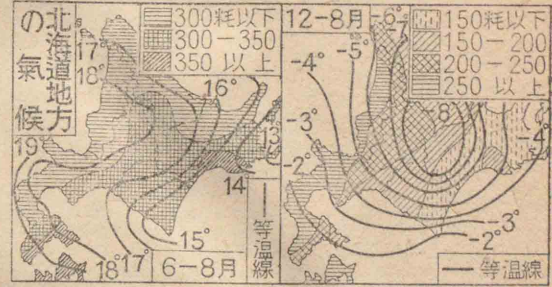


商工業地—札幌小樽室蘭函館
 水産中心—函館小樽釧路根室
 農産中心—網走野付牛旭川帶廣
 製紙地—苫小牧江別—函館
 交通要地—岩見澤瀧川稚内旭川

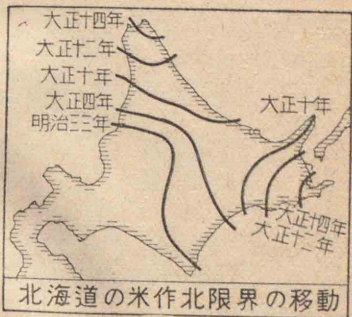
(一) 半島部 本州に最も近いので、一番早く開けた地方である。農業は餘り振はず、西岸には水産業が盛であつたが、今は稍衰へた。然し函館は北洋漁業の根據地として榮えてゐる。余市附近の苹果は有名である。
 (二) 中央低地 本島の主要生産地帯である。夏はかなり高温となるので、米



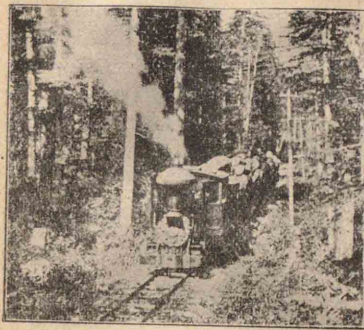
鮭 漁



て、東岸は西岸より気温が低く、且濃霧が多い。産業處誌 半島部中央低地、樞幹部の三區に分つて述べる。
 (一) 半島部 本州に最も近いので、一番早く開けた地方である。農業は餘り振はず、西岸には水産業が盛であつたが、今は稍衰へた。然し函館は北洋漁業の根據地として榮えてゐる。余市附近の苹果は有名である。
 (二) 中央低地 本島の主要生産地帯である。夏はかなり高温となるので、米

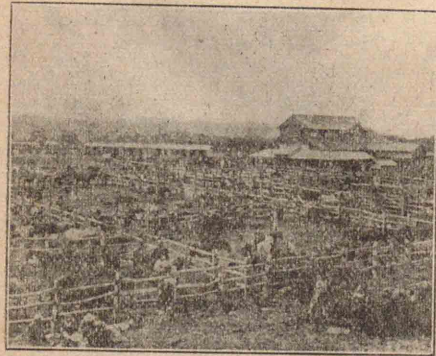


他へ積出され、留萌には石炭液化の業が起つてゐる。山地には蝦夷松、松等の美林がある。



北見地方の森林鐵道

十勝平野には甜菜、亞麻等を産するが、釧路根室の附近は農業は振はず、水産業採炭が行はれ、又牧馬が盛んで、大樂毛に大きな馬市が立つ。北見平野は夏が稍



大樂毛の馬市

をなし、又各種の工業も行はれる。岩見澤、瀧川等は鐵道の分岐點に起つた町である。

(三) 軀幹部 上川盆地は氣候が大陸的で、冬は非常に寒い。夏が高温であるから、米の出來がよい。旭川は其の大中心である。山脈の西麓には石狩炭田があつて、産炭量は九州に次ぎ、小樽及び室蘭から京濱地方、其の他へ積出され、留萌には石炭液化の業が起つてゐる。山地には蝦夷松、松等の美林がある。

高温であるから、近時開墾が次第に進んで、甜菜、大豆、薄荷等の産額が増加しつゝある。網走、野付、牛は其の中心である。日本海岸には鱈、鱈、鮭、昆布等の産があり、これ等は多く函館に送られる。北端の稚内からは樺太へ連絡船を通じてゐる。

千島列島 三十餘の火山島で、氣候が寒いから農業は行はれないが、夏には漁業が盛んで、他地方からの出漁者も多い。近年養狐業も行はれる。我が國の最北にあつて、米、ソ、兩國に近く、軍事上、交通上重要な意義を持つ。

要するに、本道は農、水産及び石炭の利が頗る多く、近時工業も興り、我が國北方の一大寶庫である。

内地の三分の一以上を産するもの
亞麻、燕麥、甜菜、豌豆、薄荷、玉蜀黍、小豆、
除蟲菊、馬鈴薯、乳製品、水産製造物

農業：米、麥類、豆類、馬鈴薯、苹果、甜菜、玉蜀黍、薄荷、亞麻、
牧畜：馬、牛、
林業：蝦夷松、
椴松、
水産業：鱈、鱈、鮭、昆布、
鑛業：石炭、
工業：製鐵、石炭液化、紙、ビール、麻澱粉

交通 函館根室宗谷の三幹線が走り、炭田附近には多くの炭坑線がある。

海運は、函館・小樽・室蘭を中心とする。商業 小樽・函館は道内商業の中心で、又室蘭等と共に開港場である。住民 アイヌ族は先住民であるが、今は数が少い。維新後、政府の奨励によつて、奥羽北陸からの移住者が多い。政治 七市十四支廳があり、北海道廳長官がこれを治めてゐる。

生活特性 昔は蝦夷と稱した化外の地で、主として明治以後に開拓された地方である。従つて、人口密度も頗る小さく、總べての様子が植民地的である。最初は主として豊富な水産物に着眼され、其の後土地の開墾、山林の伐採、鑛物の採掘等が行はれるやうになり、最近では水力も開發され、各種の工業も勃興するに至つた。然し勞力が不足してゐるので、植民の招致には種々の對策が講ぜられてゐる。近年水産は漸く衰退期に入つた

が、北洋漁業の根據地として、重要な意義を持つてゐる。

第十一章

樺太地方

三〇五方軒 四萬人 一二人

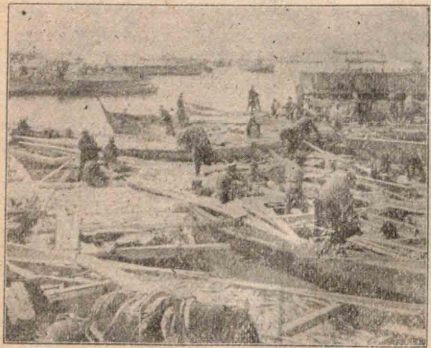
自然 位置・地勢 樺太島の中、北緯五十度以南の部分で、我が國の最北部に位する。西部に樺太山脈、東部に東北山脈(北)鈴谷山脈(南)があり、其の間に、北に幌内平野、南に鈴谷平野が挟まれてゐる。

氣候 北海道より更に氣溫

が低い。海流の關係で、西岸は東岸より氣溫が高く、本斗・眞岡は不凍港である。

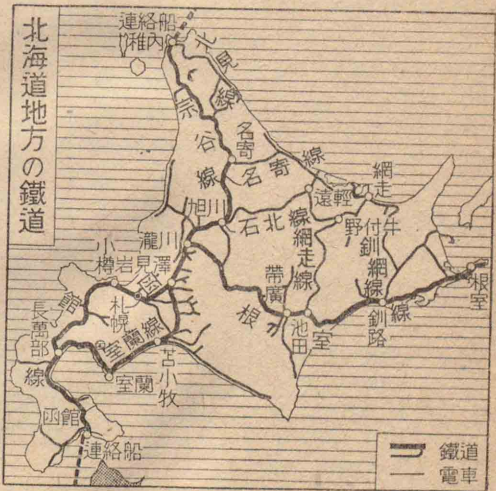
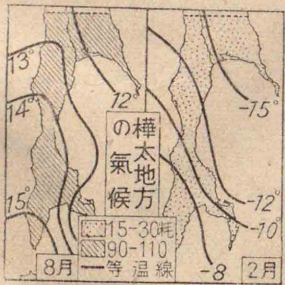
産業處誌 西部・東部の二區に分つて説明する。

(一) 西部 漁業が盛んで、本斗・眞岡等の漁港があり、海岸各地の炭田は、近時漸く採掘されるやうになつた。森林は北になる程多く、惠須取其他



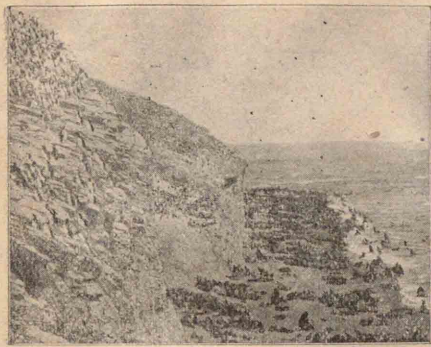
樺太地方

西岸の漁



にパルプ工場がある

(二)東部 幌内平野は、大部分ツンドラで、殆ど利用されてゐない。森林は北部に多く、大泊豊原^{シカ}敷香にはパルプの工場がある。鈴谷平野には農業が行はれ、豊原は其の中心都市である。大泊は本島の南門で水産物を集散し、鐵道はこゝから敷香に通じてゐる。この部

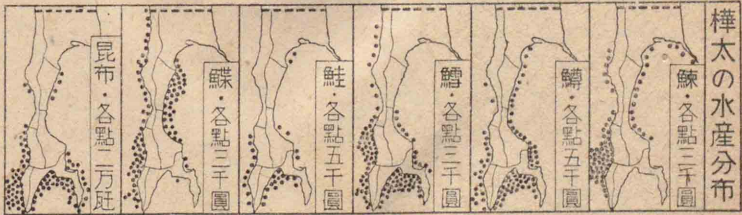
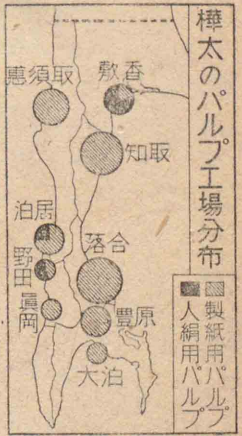


海豹島の臘肭獸とロッペン島

昭和十六年七月三十一日北滿鐵道會社撮影

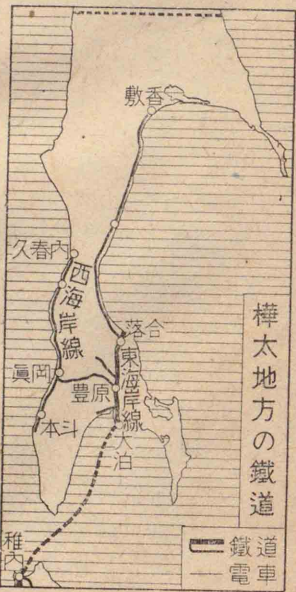
にも石炭の埋藏が多く、一部は採掘されてゐる。東岸南岸到る處漁業が盛で、海豹島は臘肭獸の保護繁殖地である。

交通 鐵道には西海岸線、東海岸線、豊眞線等があるが、一般に交通が不便である。商業 大泊眞岡は開港で、多く小樽と取引する。



住民 原住民の土人は、總數二千人に過ぎない。大部分は内地人で、奥羽地方からの移住民が多い。

政治 樺太廳(豊原の下に七支廳)がつて全島を治める。



政治中心—豊原

港—大泊本斗眞岡

商業地—敷香・大泊眞岡

豊原

パルプ工業地—落合・恵須

取知・取泊・居豊原・敷香

大泊・野田・眞岡

生活特性 開發の第一歩は漁業に始まり、南部の沿岸から漸次漁業聚落が出来た。次に林業・鑛業の工業が起つた。晝の長い夏は活動に適し、又水産業が人口を吸収して活況を呈するが、冬は一般に寂れる。林産の如きは、植林につとめ、これが永續を圖らねばならぬ。石炭の採掘と、其の液化事業も益、發展せしめ得るであらう。我が國の北方發展の足場として大切であるから、もつと澤山移住して、大いに開拓を進めねばならない。

第十二章 朝鮮地方

三〇、七五方人
二、四三萬人

自然

位置・地勢

朝鮮は海を隔てて、山陰北九州と對し、アジア大陸と日本

内地との間の陸橋の如き位置にある。其の南半、即ち

南鮮の東部には太白山脈があり、山脈の北端には風光

絶佳の金剛山がある。山脈の西方は到る處丘陵が多

く、漢江・錦江・洛東江等の流域には平野が開けてゐる。

北半、即ち北鮮には咸鏡山脈や

白頭山・蓋馬高臺等があつて、高

地をなし、西方には大同江等の

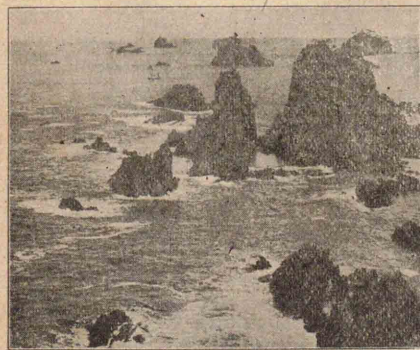
流域に平野が開けてゐる。鴨

綠江・豆滿江は滿洲國との國境

を流れてゐる。東岸は單調であるが、南岸西岸は

屈曲に富み、濟州島を始め、島嶼も非常に多い。

山脈	長白 太白—金剛山
火山	白頭山 濟州島
河川	鴨綠江 豆滿江 大同江 漢江 洛東江



剛金海

昭和十六年八月一日朝鮮軍司令部許可

氣候

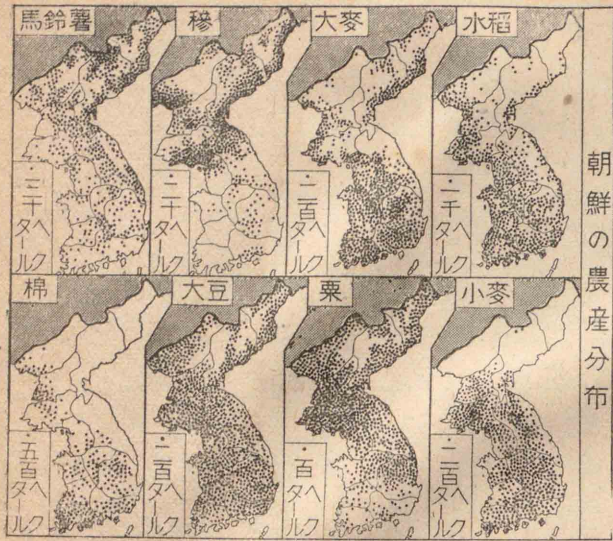
大陸の影響により寒暑の差が著しく、殊に北部

は冬の寒氣が甚だしい。夏は南部東部に雨が多く、冬

は全半島が乾季となる。内地より一般に雨量が少い。

産業處誌 南鮮北鮮に分つて説明する。

朝鮮の農産分布



(一) 南鮮 諸平野には

農業が盛で、米・大豆・棉

麥等が作られ、米は主

に群山から、棉花

は木浦から内地

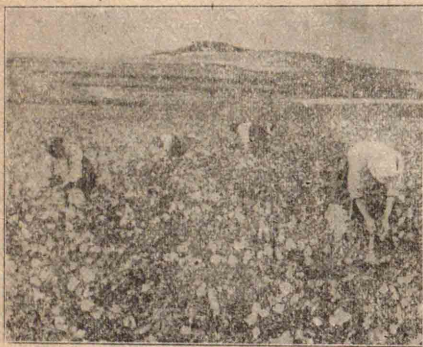
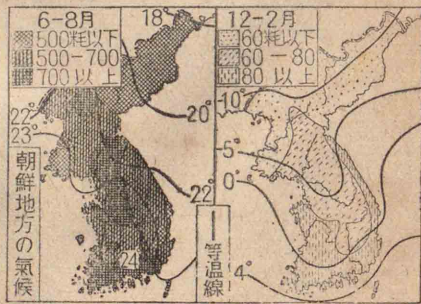
に移出する。又

大邱附近は、苹果

の産が多い。石

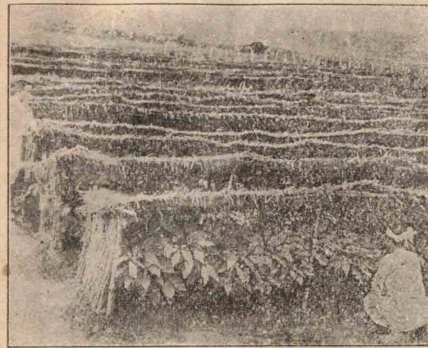
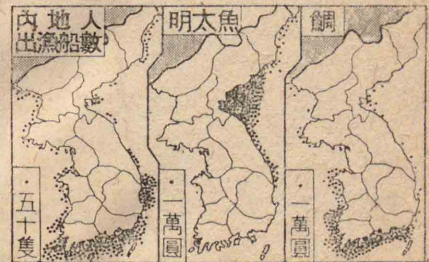
炭は三陟附近に、

金は金堤・金井等



忠清南道の棉畑

に産し、木浦附近の明礬石は、アルミニウム原礦として内地に送る。海には漁業が盛で鯛は殊に名高い。釜山は半島の南門で水陸連絡の設備がよく整ひ、農水産物の集散地として著れ、市街は内地風を帯びてゐる。鎮海は海軍の要港である。京城は半島の略中央に位し、周圍に山をめぐらし、一部漢江に沿ふ要害の地で、朝鮮神宮總督府、舊王宮等があり、紡績其の他の工業が行はれる。仁川は

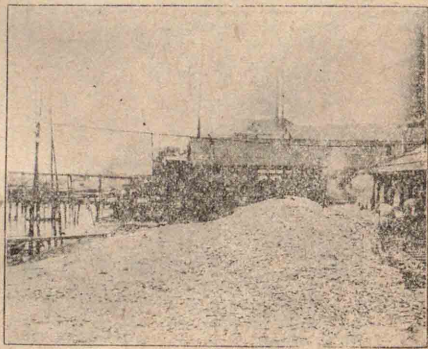


其の外港で、支那方面との貿易が盛であるが、海が遠浅で潮汐干満の差が大きいから、開門式の築港を施してゐる。

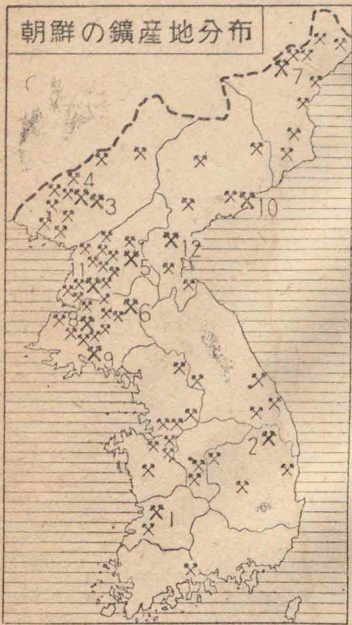
人 蔘
 (一) 北鮮 大豆粟等の農産が多く、牧牛も盛であ

商工業地—京城釜山平壤
 新義州
 工業地—興南兼二浦
 商業中心—大邱咸興開城
 港—仁川鎮南浦元山清津
 羅津雄基釜山木浦群山
 交通要地—京城釜山羅津

る。開城は人蔘の産地として名高い。鴨綠江と豆滿江との流域には森林が多くて盛に伐採され、新義州には製材及びバルブ工業が行はれる。鴨綠江支流の長津江赴戰江、盧川江は堰止められて、其の水は日本海斜面に落され、莫大な電氣が起されてゐる。この電力により興南に硫安、清津、咸興、平壤に種々の工業が勃興した。鴨綠江本流にも亦、大發電所が出来つゝある。



北鮮の魚油製造工場



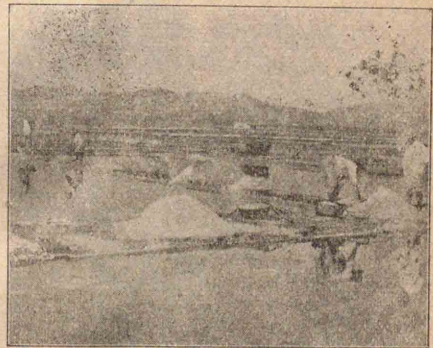
雲山、大楡洞等に金、茂山、載寧等に鐵鑛を産し、兼二浦には製鐵が行はれる。石炭の産も多く、各地に石炭液化の業が起つてゐる。東部には黒鉛の産もある。平壤は商工業の中心で、鎮南浦は其の外港である。海

岸は漁業が盛で、東岸の鱈、明太魚、西岸の石首魚が名高く、元山、清津、雄基等の漁港があり、西岸では天日製鹽が行はれる。羅津は滿洲國の門戶として、北陸方面と航路を通じてゐる。

全國の三分の一以上を産するもの

- 棉花、粟、大豆、大麻
- 玉蜀黍、牛、金、黒鉛
- 無煙炭

朝鮮の産業は久しく振はなかつたが、併合後は全く面目を一新し、水源の涵養、灌漑の施設、干拓の工事等によつて農業が發達し、林、鑛、水産の諸業も進歩し、水力も開發されて、今では東北部を中心として、工業時代に入らうとしてゐる。



廣梁灣の鹽田

農業(米、麥、粟、大豆、棉、苹果、人蔘) 牧畜(牛) 林業(木材) 水産業(鱈、明太魚、石首魚、鹽) 鑛業(石炭、鐵、金、黒鉛、明礬、礬石) 工業(紡績、パルプ、硫酸、安人絹、人織、石炭、液化、製鐵、製材)

交通 鐵道は標準軌道(四呎八吋半)で、京釜、京義二線は、安奉線と共に、世界

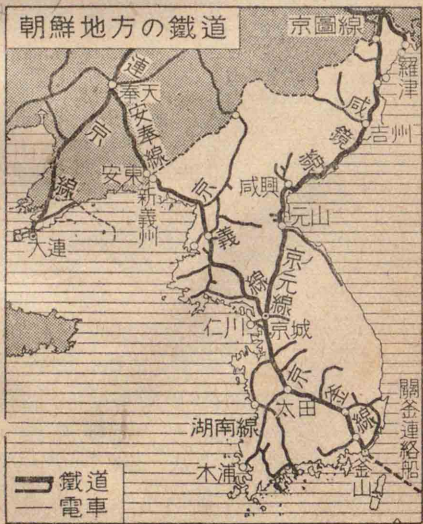
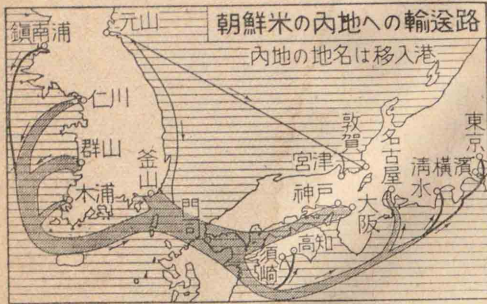
交通の一幹線である。

商業 大都市以外には、常設の商店が少く、各地に定期市が開かれ、生産者自ら生産品を交換する。釜山、仁川、羅津以下十二の開港がある。

住民 住民の大部は教育の普及につれて國語を使用し、忠良

の美風が興り、現に志願兵制度が布かれるに至つた。政治 京城に朝鮮總督府を置き、十三道に分つて治めてゐる。

生活特性 全人口の八割は農民で、都市は何れも農産物の集散地となつてゐる。農民の多くは小作農で、北鮮には山地を放浪する火田民も多い。農業本位の地方である上、人口密度も小さいから、大都會は少い。



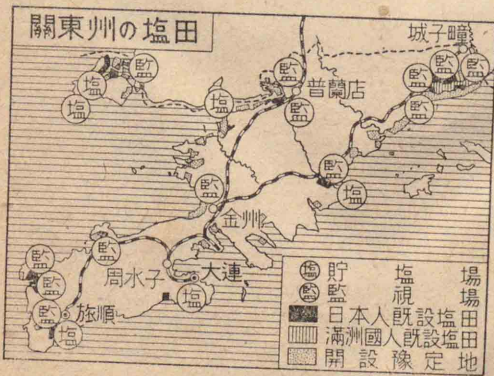
朝鮮は内地に對する金鐵無煙炭米棉花・バルブ木材等の供給地として、又將來の工業地として重要な意義を有する。嘗て大陸文化を我が國に傳へた當地方は、滿洲國の成立後の今日に於ては、内地と大陸とを結ぶ陸橋としての重要性を愈々加へつゝある。

第十三章 關東州地方

三、四二方料
一、三〇萬人
三、九六人

日露戰役により、ロシアの租借權を譲り受けた地、滿洲國の關門として、軍事交通、商業上の要地である。

一體に土地低平で農業が行はれ、漢族によつて高粱、玉蜀黍等が作られる。氣候は大陸的で夏に雨が多いが、其の他の季節は乾燥してゐるから、海岸では天日製鹽が行はれ、工業鹽として内地に送る。連京線は大連に起つて新京に通じ、滿洲國の産物



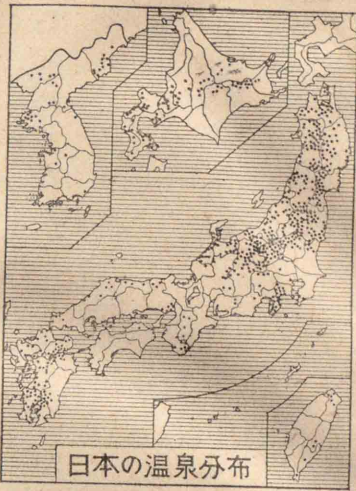
は多くこれによつて運び出される。従つて大連港には大豆、豆粕、石炭が山と積まれ、又金屬機械類等も輸入され、全滿貿易の六割はこの港で行はれる。自由港で、化學工業窯業等も行はれる。旅順は自然の良港で、日露の兩役に我が軍の奮戰した處、今は其の戰跡の視察者が多い。金州には紡績業が行はれる。

第二編 總括

第一章 自然

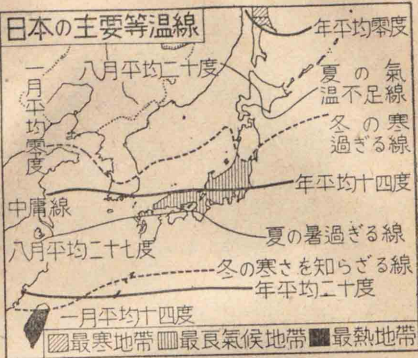
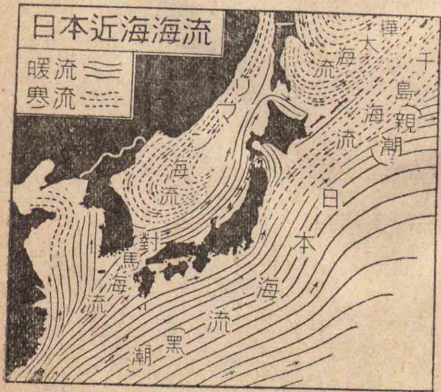
地勢

我が國は到る處に山脈が走り、火山が聳えて、風景はよく、温泉も多いが、人間の活動に適する平地が乏しく、川も短小で且急流が多い。それ故、平地は隅



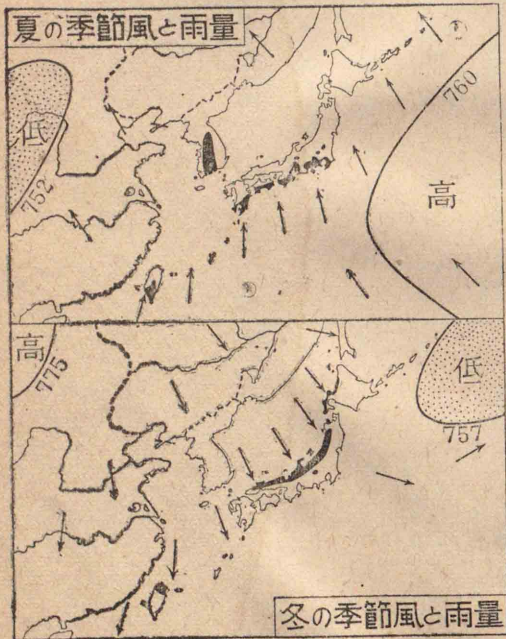
隅まで利用され、川は灌漑發電等に利用されてゐる。海岸は複雑で良港に

富むから、商業にも漁業にも頗る好都合である。噴火、地震、津波、洪水等の害が多いのは遺憾である。近海 太平洋は一般に深いが、大陸側の海は概ね



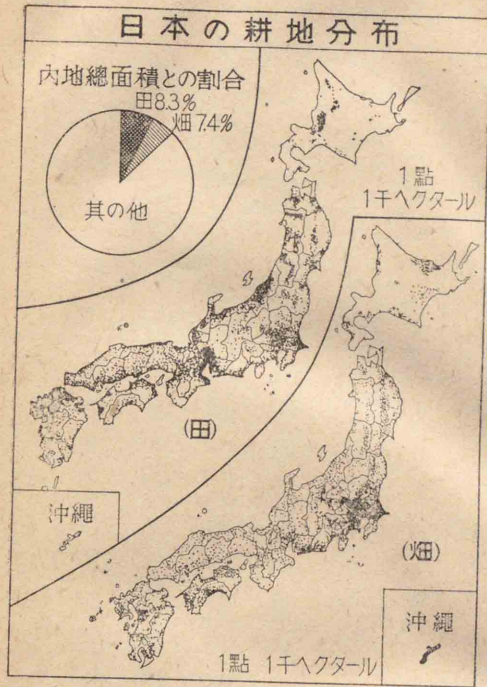
浅い。到る處、暖流又は寒流が流れてゐて、氣候に影響を及ぼし、且魚類を豊富にしてゐる。氣候 南は臺灣、南洋等の熱帯から、北は樺太の寒帯に近い處まで互る故、氣候は複雑であるが、大部分は温帯、海洋性のよい氣候である。季節風帯にあるので、夏は南東風が吹いて

表日本朝鮮に雨が多く、冬は北西風が多くて裏日本に雪を降らせる。六月頃の梅雨は米作に利用されるが、九月頃の颱風は被害が著しい。氣候が複雑なため、生物も熱温寒各帯のものが分布してゐる。

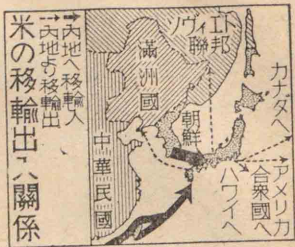


第二章 産業

概観 我が國は古來農を主業とし、國民の約半數はこれに従事してゐるが、近年工業が勃興して産額は首位を占めるに至つた。工業農業に次いで水産業が盛で、世界第一を誇つてゐる。牧・林・鑛の諸業は比較的有望でない。



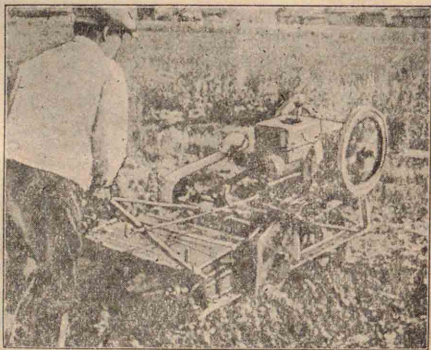
農業 耕地が非常に狭いので肥料を多く施し多毛作を行ふ等集約的に經營し穀類を主作物とする。其の他各種の作物を栽培し又養蠶・牧畜・小工業等を副業としてゐる者が多い。米と麥とは大體自給し得る。大都市附近は米が不足するの



産額世界第一

除蟲菊 絲瓜
薄荷 生絲
樟腦 木臘

等も概ね自給出来るが、棉花は大
部分米國・インド等から輸入する。
絲は輸出品中の首位を占め、大いに國富を増進してゐる。
て、奥羽・北陸
朝鮮・臺灣等
から補給し
てゐる。甘
蔗は臺灣に
多く、茶・煙草



耕作法の改良 自動耕耘機

牧畜業

未墾の原野が少いので、牧畜は盛でない。北海道・奥羽・九州に馬、中國・九州・朝鮮に牛が多く、都會の附近では養豚・養鶏が盛である。羊は氣候が不適當で、羊毛は濠洲其の他から多量に輸入する。

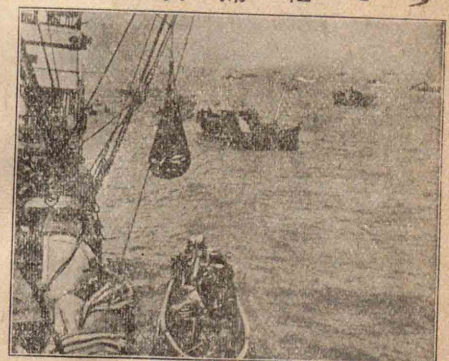
林業 木材は奥羽以北に稍多いが、需要を充たすに足らない。副産物として薪炭の外、臺灣の樟腦は最も重要である。

水産業 四面に海をめぐらし、海岸には漁港が多く、國民は海に慣れてゐるので、水産業は世界中で最も發達し、近海のみならず、北

産額世界第一

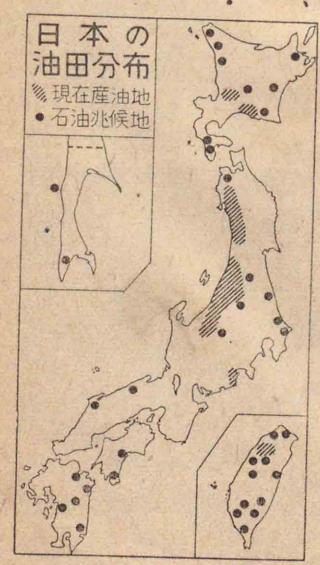
漁獲物 蟹罐詰
寒天 眞珠

洋・南洋の各地から、南極海の捕鯨に至るまで、遠洋出漁者が頗る多い。漁獲物は魚類、貝類、海獸、海藻等て、或は油を搾り、或は鹽藏、乾製、罐詰等にして、盛に海外にも輸出する。産額は北海道が最も多い。養殖業も各地に行はれ、製鹽業は



カムチャツカ沖の鮭漁

あまり振はないので、工業鹽は多量に輸入されてゐる。鑛業 鑛物の種類は多いが産額は少く、最も多い石炭も近年自給が稍困難で、満支から輸入されてゐる。鐵とアルミニウムも、其の鑛石の大部分を輸入して、漸く自給してゐる有様で、石油も産額が頗



る少いから、石炭液化や、アルコールの混入で自給を計畫してゐる。銅は稍多いが、近年不足を告げ、金も極力増産を奨励してゐる。黒鉛のみは産額が世界第一である。

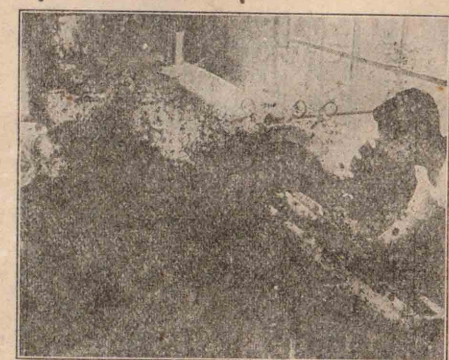
産額世界第一

絹織物 人絹織物 綿製品 硝子セメント 燒物 電球 自轉車ゴム靴 硬化油 硫安 人織

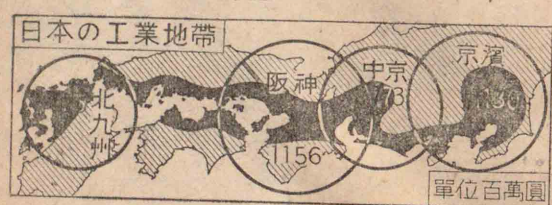
不足資源

綿羊毛 バルブ 木材 ゴム 皮 革油 種子 麻 鹽 鐵 鑛 石油 亞鉛 錫 アンチモニー マンガン ニッケル

工業 工業原料は乏しいが、至便な交通によつて原料を諸外國から輸入し、それに石炭と水力とに恵まれ、勞力も豊で、工業發達の諸條件を備へてゐる。而も支那・南洋



窯に込瓶する高刀陶器の製造

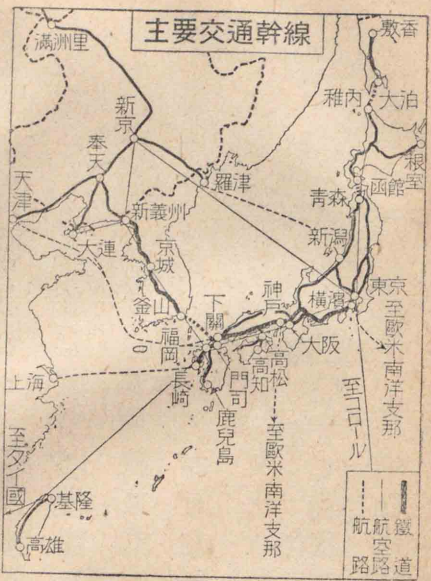


インド等、人口の多い好市場を控へて、近年工業の發達が目覺しく、東京から長崎に至る間が一大工業地帯となり、其の中に

京濱中京阪神北九州の四つの核心がある。工業中、最も盛なものには繊維工業で、人絹及び綿絹人絹織物等は、何れも世界一二を争つてゐる。殊に絹織物の美術的の精巧品は、他の追従を許さない。其の他、近年は重工業、化学工業の發展が目覺しく、陶磁器、セメント、硝子、硫安等は産額世界第一で、製鐵機械造船肥料藥品等の諸工業も、長足の進歩を遂げつゝある。

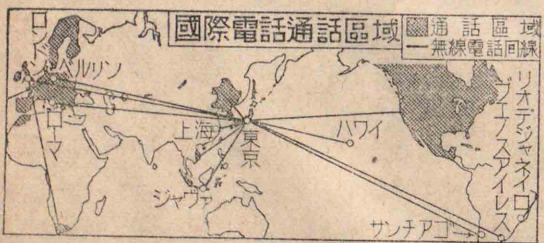
商業 貿易は近年急速に發展し、總額六七十億圓で、生絲綿織物人絹織物等を輸出して、棉花機械類等を輸入してゐる。貿易港は横濱神戸大阪の三港を主とし、相手國は米國が第一で、滿洲國支那インド等の東亞諸國がこれに次ぎ、アフリカ南米其の他に向かつてても大いに發展しつゝある。支那事變が終熄し、東亞の新秩序が完成すれば、對支貿易は一大躍進を見るであらう。

第三章 交通 通信



山が多いので陸の交通は發達が後れたが、近年道路は次第によくなり、鐵道も普及し、大都市では高架及び地下鐵道が敷設され、電車自動車の發達も頗る著しい。最も重要な幹線は東海道線、山陽線で、主要都市の大部を連絡し、且關

釜連絡船を以て朝鮮滿支の鐵道に連絡し、大陸への最主要路なので、交通が最も頻繁である。海の交通は古來よく發達し、商船の噸數は世界第三位を占め、横濱神戸大阪を中心として、内外各地に航路を開いてゐる。航空の發達も近年著しく、東京大阪福岡を中心として、内外各地に航空路を通ずる。郵便電信電話もよく普及し、無線通信は東京大阪を二大中心として、世界各地に通じてゐる。

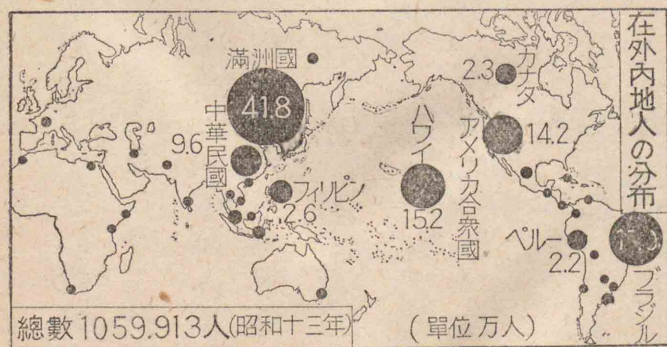


第四章 住民

種族 住民の大部は天孫種族で、他の種族はこれを中心としてよく同化融合され、上下一致、忠良無比の日本民族を結成してある。



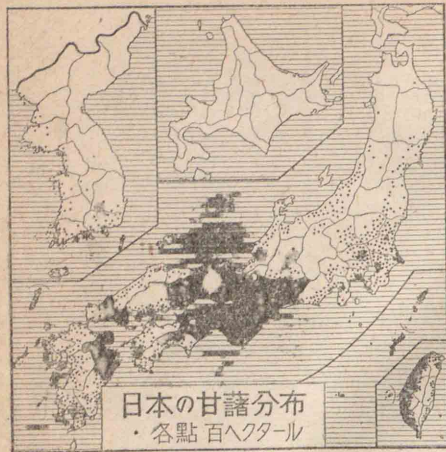
人口 總數約一億、内地の密度は一方、約百八十一人で、世界第四位であるが、尙年々の増加約百萬人、海外殊に滿支に向かつて、盛んに移住しつゝある。近年に農工商業の隆盛と共に、人口の都市集中は殊に著しい。文化、教育はよく行互つて、義務教育を受けない児童は極めて少く、大學も澤



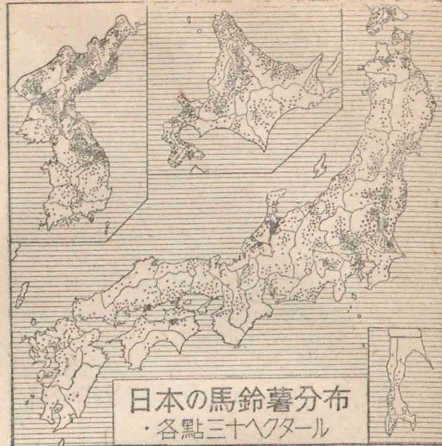
山あつて學問の進歩が著しく、國民の教養は極めて高い。

第五章 政治

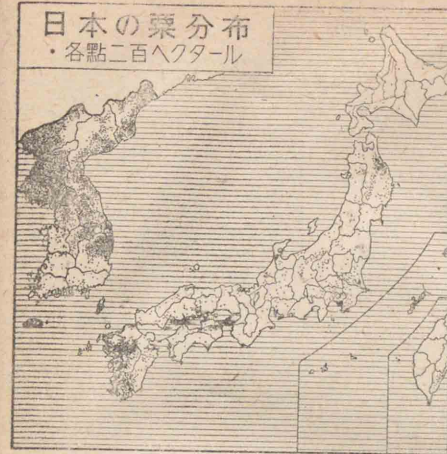
我が國は萬世一系の 天皇を戴く世界無二の美はしい國體で、統治の大權は 天皇が統べさせられ、其の下に立法、行政、司法の三機關がある。これを通して 天皇の御仁政は普く行互り、國民は聖恩の厚きに感激しつゝ、幸福な生活をしてゐる。この國家を守るに強力な陸海軍がある。陸軍は東部、中部、西部及び北部の四軍管區に分れ、別に朝鮮、臺灣、關東州、滿洲國に各軍司令部を置いてある。海軍は全國の海岸、海面を四海軍區に分ち、各鎮守府がこれを管轄してゐる。外交は飽くまで正義に基づく八紘一字の世界平和を目標とし、この精神を理解する滿洲國並びに獨伊兩國とは同盟を結んで、特に親善を厚くし、これに反するものには斷乎たる態度を執つてゐる。かくて國威は燦然として四方に輝き、東亞の盟主、世界の強大國として、世界を指導する立場にある。



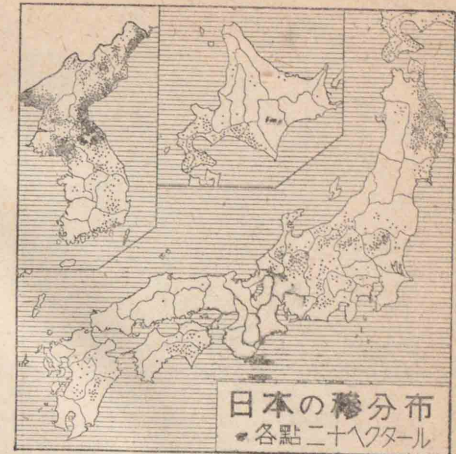
鹿兒島	16%
島根	14%
沖繩	8%
長門	7%
千代田	5%
熊手	5%
靜岡	5%
内地總產額	3862百萬斤
甘藷	昭和十二年



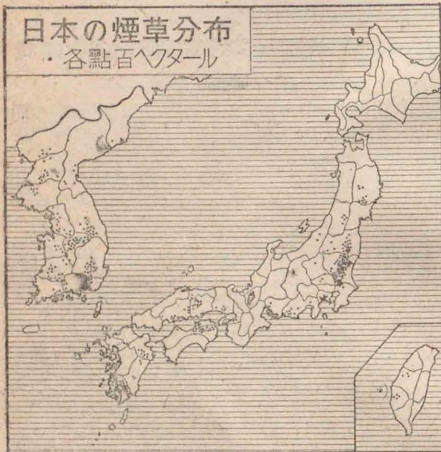
北海道	59%
青森	3%
森島	2%
福崎	2%
宮崎	2%
群馬	2%
内地總產額	2067百萬斤
馬鈴薯	昭和十二年



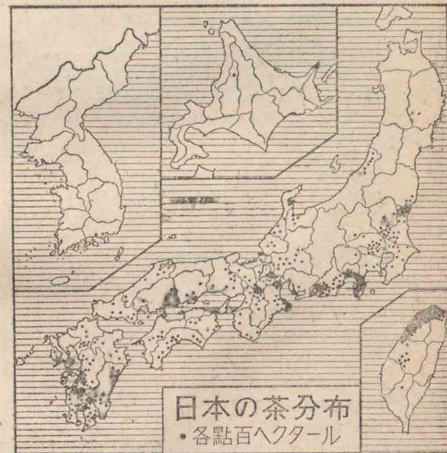
鹿兒島	25%
本州	24%
熊手	7%
北海道	5%
青森	4%
森島	4%
福崎	4%
宮崎	3%
内地總產額	151千軒
栗	昭和十二年



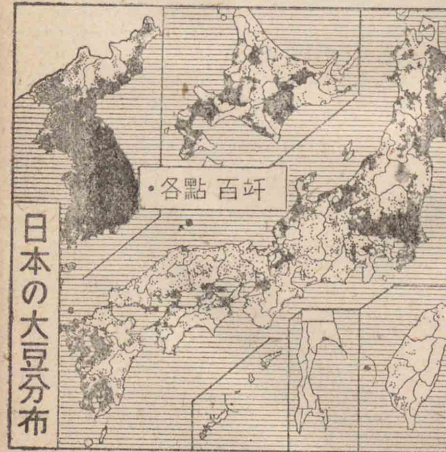
岩手	46%
手取	24%
北海道	17%
青森	3%
森島	3%
福崎	3%
宮崎	2%
内地總產額	1024百萬斤
稻	昭和十二年



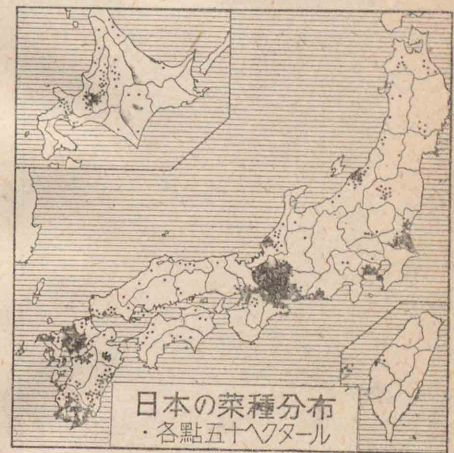
木島	16%
鹿兒島	12%
福崎	10%
德島	6%
廣島	5%
香川	4%
内地總產額	63937千軒
煙草	昭和十二年



靜岡	57%
京都	5%
鹿兒島	4%
三宮	4%
宮崎	3%
内地總產額	28280千軒
製茶	昭和十一年

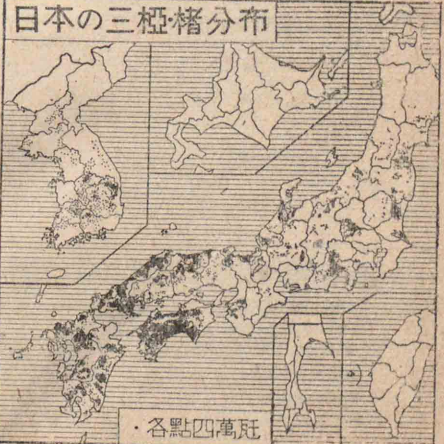
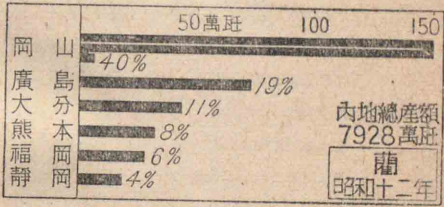
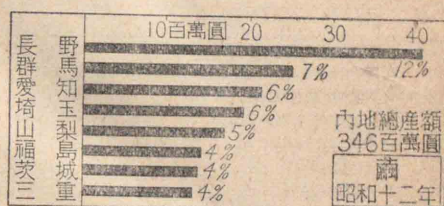
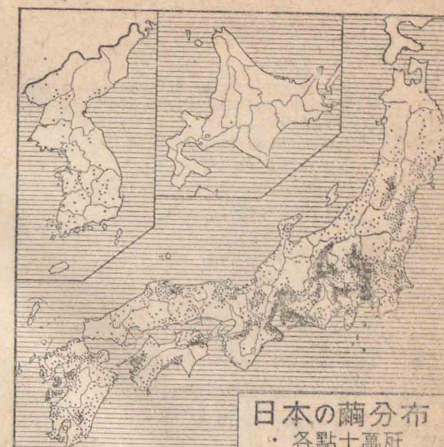
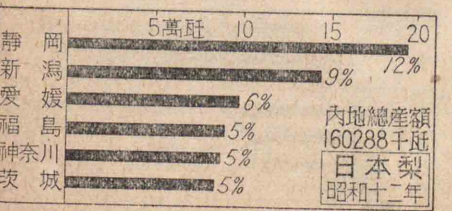
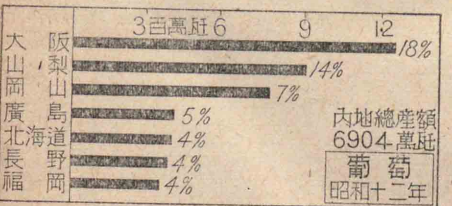
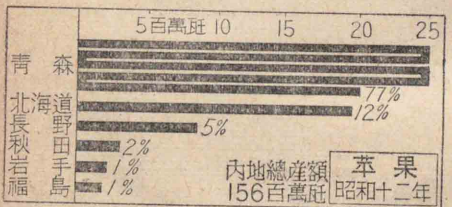
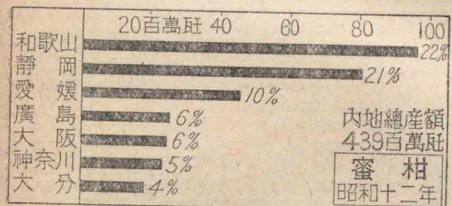
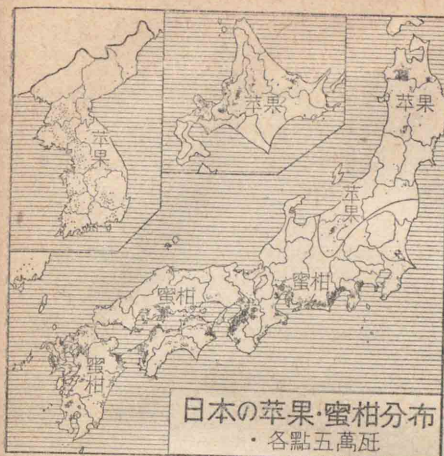
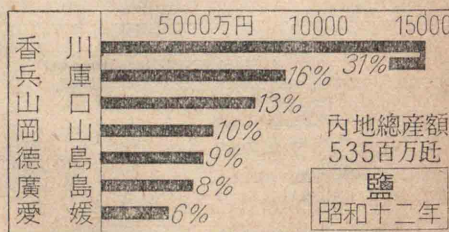
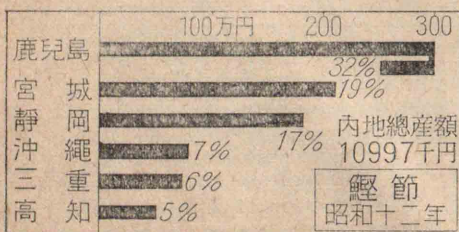
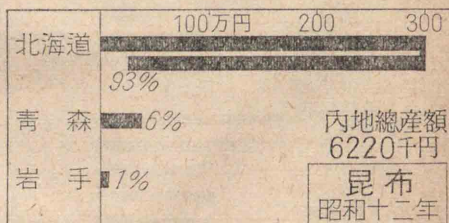
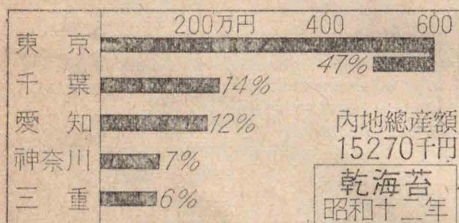
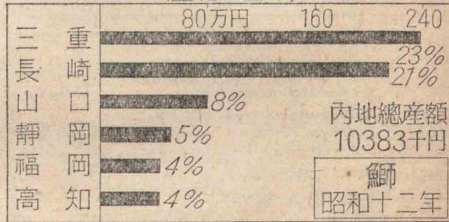
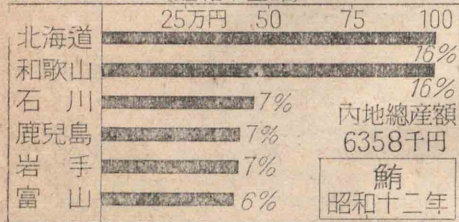
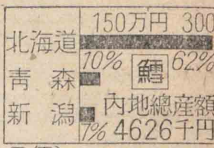
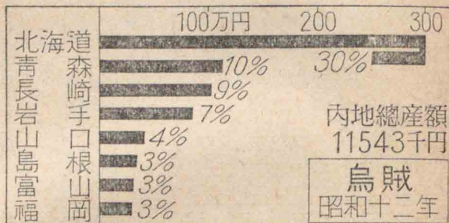
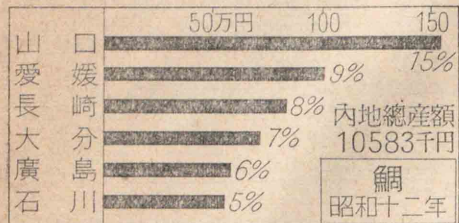
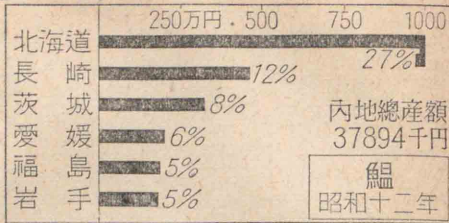
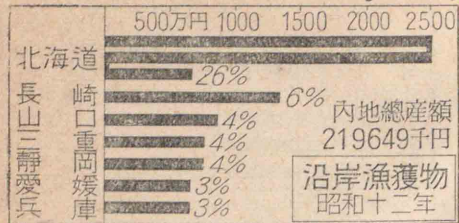


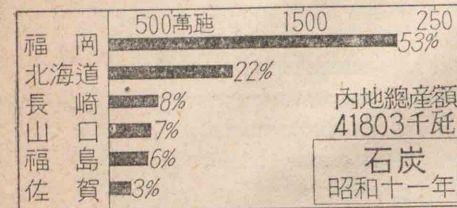
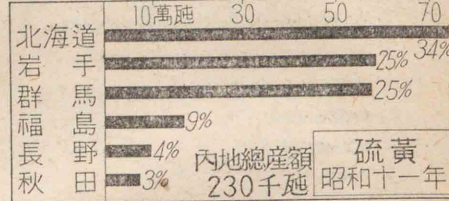
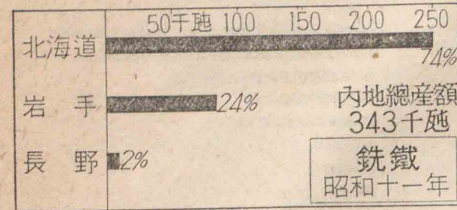
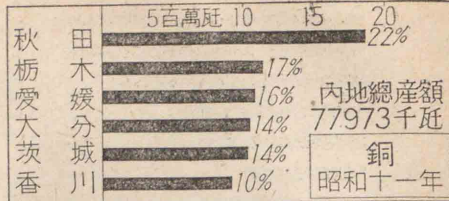
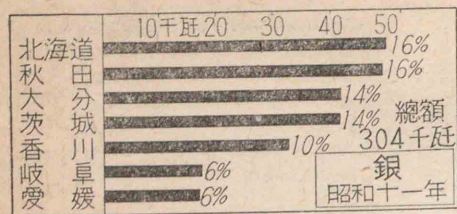
北海道	29%
岩手	8%
青森	4%
宮崎	4%
鹿兒島	4%
福崎	4%
内地總產額	512千軒
大豆	昭和十二年



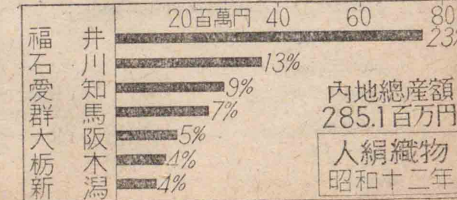
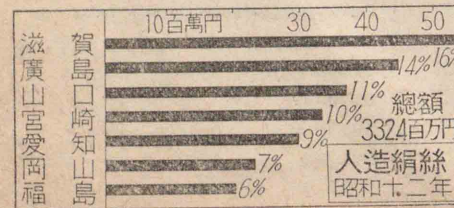
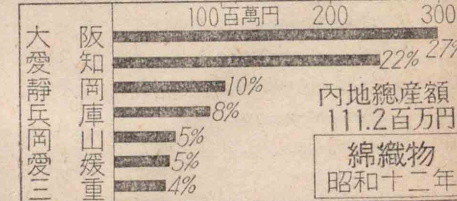
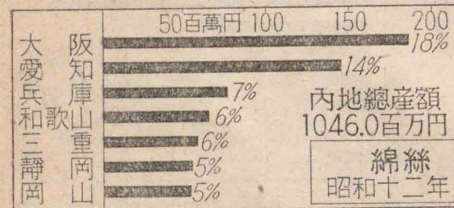
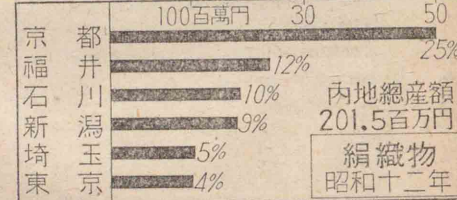
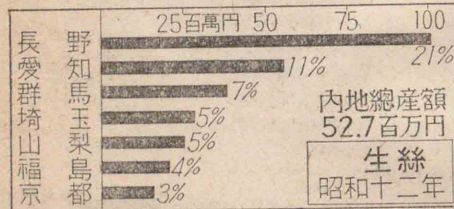
福島	25%
愛知	9%
鹿兒島	8%
北海道	7%
重賀	6%
北陸	6%
佐賀	5%
宮崎	5%
内地總產額	1989百萬斤
菜種	昭和十二年

水産物

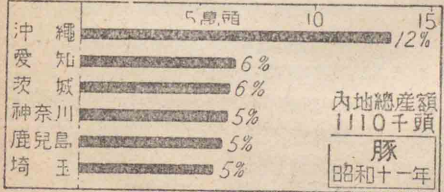
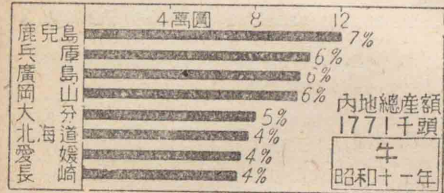
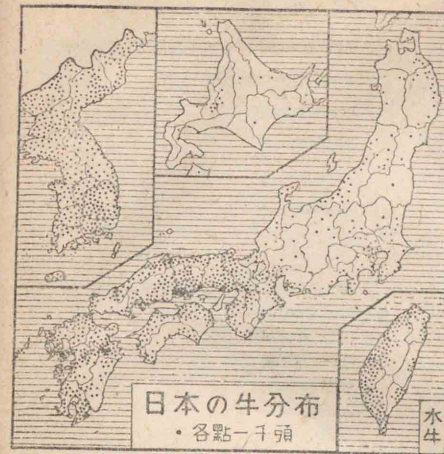




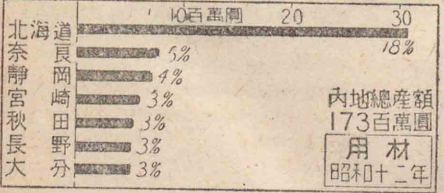
工産物



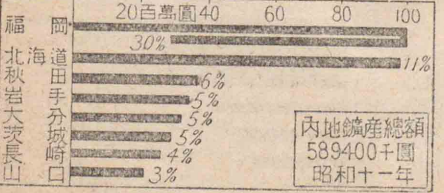
牧



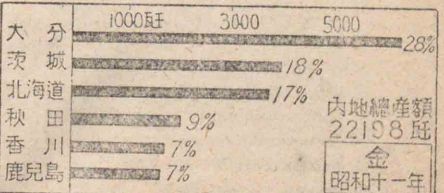
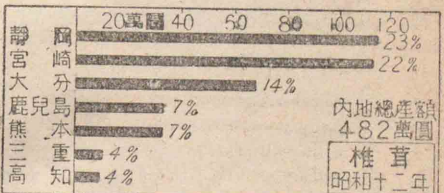
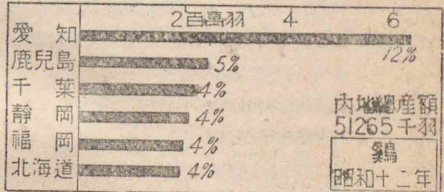
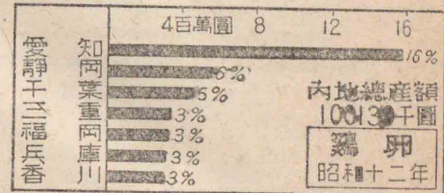
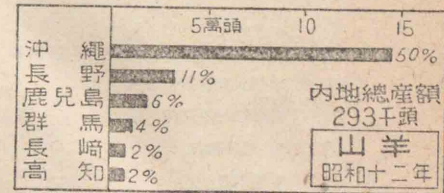
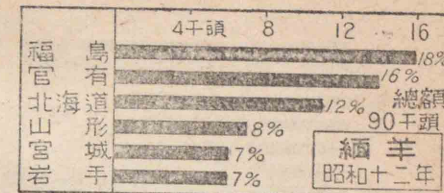
林産物

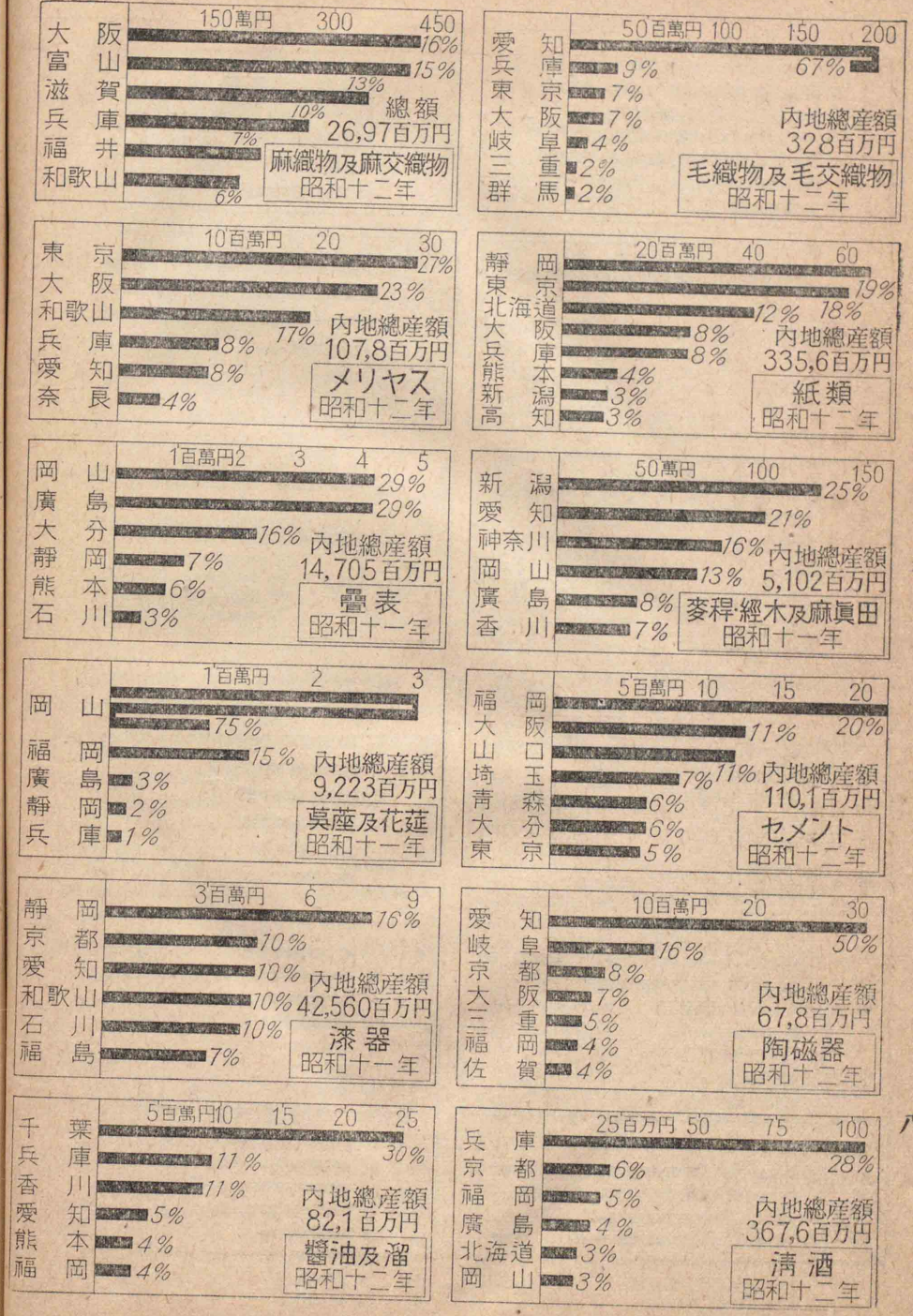


鑛産物



畜





府縣別人口・密度及內地主要都市人口 (昭和十五年國勢調査及び以後ノ變動) 括弧内ハ人口密度、單位人、

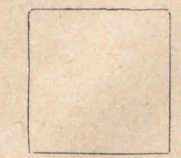
關東地方 東京 7,750,000 (34.5) 八王子市 67,800 (1,200) 立川市 12,300 (1,200) 青梅市 12,300 (1,200) 淺川町 12,300 (1,200) 神奈川 2,800,000 (100) 川崎市 900,000 (1,200) 横濱市 2,800,000 (1,200) 須賀野市 12,300 (1,200) 小田原市 12,300 (1,200) 平塚市 12,300 (1,200) 鎌倉市 12,300 (1,200) 藤澤市 12,300 (1,200) 浦賀町 12,300 (1,200) 逗子町 12,300 (1,200) 大磯町 12,300 (1,200) 千葉 1,500,000 (100) 千葉市 1,500,000 (100) 銚子市 12,300 (1,200) 船橋市 12,300 (1,200) 館山市 12,300 (1,200) 野田市 12,300 (1,200) 佐原町 12,300 (1,200) 木更津町 12,300 (1,200)	關東地方 勝浦町 12,300 (1,200) 流山町 12,300 (1,200) 埼玉 2,000,000 (100) 川口市 12,300 (1,200) 浦和市 12,300 (1,200) 大宮市 12,300 (1,200) 熊谷市 12,300 (1,200) 秩父市 12,300 (1,200) 群馬 1,100,000 (100) 前橋市 12,300 (1,200) 桐生市 12,300 (1,200) 高崎市 12,300 (1,200) 伊勢崎市 12,300 (1,200) 富岡町 12,300 (1,200) 宇都宮市 12,300 (1,200) 栃木 2,300,000 (100) 足利市 12,300 (1,200) 日光市 12,300 (1,200) 足尾町 12,300 (1,200) 那須町 12,300 (1,200) 鹽原町 12,300 (1,200) 茨城 1,200,000 (100) 日立市 12,300 (1,200) 水戸市 12,300 (1,200)	關東地方 土浦町 12,300 (1,200) 石岡町 12,300 (1,200) 結城町 12,300 (1,200) 太田町 12,300 (1,200) 奧羽地方 福島 1,200,000 (100) 郡山市 12,300 (1,200) 福島市 12,300 (1,200) 若松市 12,300 (1,200) 平泉町 12,300 (1,200) 白河町 12,300 (1,200) 須賀川町 12,300 (1,200) 中村町 12,300 (1,200) 原町 12,300 (1,200) 二本松町 12,300 (1,200) 川俣町 12,300 (1,200) 三春町 12,300 (1,200) 四倉町 12,300 (1,200) 仙台市 12,300 (1,200) 石巻市 12,300 (1,200) 鹽釜町 12,300 (1,200) 氣仙沼町 12,300 (1,200) 鮎川村 12,300 (1,200) 岩手 1,200,000 (100)	關東地方 盛岡市 12,300 (1,200) 釜石市 12,300 (1,200) 宮古市 12,300 (1,200) 水澤町 12,300 (1,200) 一ノ關町 12,300 (1,200) 大船渡町 12,300 (1,200) 平泉町 12,300 (1,200) 青森 1,000,000 (100) 弘前市 12,300 (1,200) 八戸市 12,300 (1,200) 青森市 12,300 (1,200) 三浦市 12,300 (1,200) 大湊町 12,300 (1,200) 七戸町 12,300 (1,200) 三本木町 12,300 (1,200) 秋田 1,000,000 (100) 秋田町 12,300 (1,200) 能代市 12,300 (1,200) 横手町 12,300 (1,200) 大館町 12,300 (1,200) 土崎町 12,300 (1,200) 小坂町 12,300 (1,200) 尾去澤町 12,300 (1,200) 山形 1,100,000 (100) 山形市 12,300 (1,200) 米澤市 12,300 (1,200) 鶴岡市 12,300 (1,200) 酒田市 12,300 (1,200)	本州中部地方 新庄町 12,300 (1,200) 靜岡 1,000,000 (100) 靜岡市 12,300 (1,200) 濱松市 12,300 (1,200) 清水市 12,300 (1,200) 沼津市 12,300 (1,200) 三島市 12,300 (1,200) 熱海市 12,300 (1,200) 大宮町 12,300 (1,200) 伊東町 12,300 (1,200) 小田町 12,300 (1,200) 下田町 12,300 (1,200) 修善寺町 12,300 (1,200) 愛知 1,200,000 (100) 名古屋 1,200,000 (100) 名古屋 1,200,000 (100) 豊橋市 12,300 (1,200) 岡崎市 12,300 (1,200) 半宮市 12,300 (1,200) 半田市 12,300 (1,200) 瀬戸市 12,300 (1,200) 豊川市 12,300 (1,200) 岐阜 1,200,000 (100) 岐阜市 12,300 (1,200) 高山市 12,300 (1,200) 高山市 12,300 (1,200)	關東地方 多治見市 12,300 (1,200) 中津町 12,300 (1,200) 山梨 1,200,000 (100) 甲府市 12,300 (1,200) 谷村町 12,300 (1,200) 身延町 12,300 (1,200) 勝沼町 12,300 (1,200) 長野 1,200,000 (100) 長野市 12,300 (1,200) 松本市 12,300 (1,200) 岡谷市 12,300 (1,200) 上田市 12,300 (1,200) 飯田市 12,300 (1,200) 須坂町 12,300 (1,200) 下諏訪町 12,300 (1,200) 新潟 1,200,000 (100) 新潟市 12,300 (1,200) 長岡市 12,300 (1,200) 三條市 12,300 (1,200) 高崎市 12,300 (1,200) 柏崎市 12,300 (1,200) 新津町 12,300 (1,200) 直江津町 12,300 (1,200) 小千谷町 12,300 (1,200) 十日町 12,300 (1,200) 相川町 12,300 (1,200)	近畿地方 兩津町 12,300 (1,200) 富山 1,200,000 (100) 富山市 12,300 (1,200) 高岡市 12,300 (1,200) 新湊町 12,300 (1,200) 氷見町 12,300 (1,200) 伏木町 12,300 (1,200) 魚川町 12,300 (1,200) 滑川町 12,300 (1,200) 石川 1,200,000 (100) 金澤市 12,300 (1,200) 小松市 12,300 (1,200) 七尾市 12,300 (1,200) 輪島町 12,300 (1,200) 大聖寺町 12,300 (1,200) 福井 1,200,000 (100) 福井市 12,300 (1,200) 敦賀市 12,300 (1,200) 大野町 12,300 (1,200) 勝山町 12,300 (1,200) 滋賀 1,200,000 (100) 大津市 12,300 (1,200) 彦根市 12,300 (1,200) 長濱町 12,300 (1,200) 八幡町 12,300 (1,200) 日野町 12,300 (1,200)
---	--	--	--	---	--	---

米原町 〇・六	堺市 一八・三	美保關町 〇・三	高知市 一〇・六	勝本町 〇・六	首里市 一・七
三重市 二〇・〇	布施市 一三・四	鳥取市 四八・一	伊野町 〇・八	大分市 九・七	北海道地方
津市 六・八	吹田市 六・五	倉敷市 三・三	高知市 一〇・六	別府市 六・六	札幌市 三〇・六
四日市市 六・三	岸和田市 四・六	玉島町 二・三	伊野町 〇・八	日田市 三・六	函館市 二〇・三
宇治山田市 五・三	豐中市 四・五	高梁町 〇・九	米子市 四・七	中津市 三・三	小樽市 一六・四
桑名市 四・一	池田市 三・五	廣島市 二七・三	倉吉町 一・六	白杵町 二・一	室蘭市 一〇・七
松阪市 三・五	兵庫市 三三・六	吳島市 二七・五	二朝村 〇・一	八幡市 二・六	旭川市 八・七
上野市 三・三	神戸市 六・七	尾道市 四・八	德島市 二八・四	小倉市 一七・八	釧路市 六・三
鳥羽町 〇・七	西宮市 一八・一	尾道市 四・八	德島市 二八・四	大牟田市 一七・二	帯廣市 六・三
京都府 一〇・五	姫路市 一〇・四	三原市 四・九	徳島市 二八・四	久留米市 八・九	夕張町 六・四
東舞鶴市 四・九	明石市 四・七	江田島村 一・七	徳島市 二八・四	若松市 八・八	美唄町 三・三
福知山市 三・一	藍屋市 三・九	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	戸畑市 八・四	網走町 三・三
舞鶴市 二・九	飾磨市 三・五	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	直方市 四・七	網走町 三・三
宮津町 一・三	伊丹市 三・三	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
奈良市 五・七	洲本市 二・九	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
郡山町 一・七	垂水町 二・三	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
和歌山 八・八	加古川町 二・一	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
和歌山市 一・五	加古川町 二・一	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
新宮市 三・三	西脇町 一・一	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
海南市 二・九	生野町 〇・八	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
田邊町 二・八	出石町 〇・四	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
箕島町 一・一	城崎町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
湯淺町 〇・七	有馬町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
高野町 〇・七	有馬町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
串本町 〇・七	有馬町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
白濱町 〇・四	有馬町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
大阪府 三・五	有馬町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三
大阪府 三・五	有馬町 〇・二	三木町 〇・六	徳島市 二八・四	飯塚市 四・六	網走町 三・三

昭和十二年七月十六日印
 昭和十二年七月十九日發
 昭和十五年十二月十五日修正三版印刷
 昭和十五年十二月十八日修正三版發行
 昭和十六年九月廿七日修正四版印刷
 昭和十六年九月三十日修正四版發行

昭和十三年一月三十一日訂正再版印刷
 昭和十三年二月三日訂正再版發行

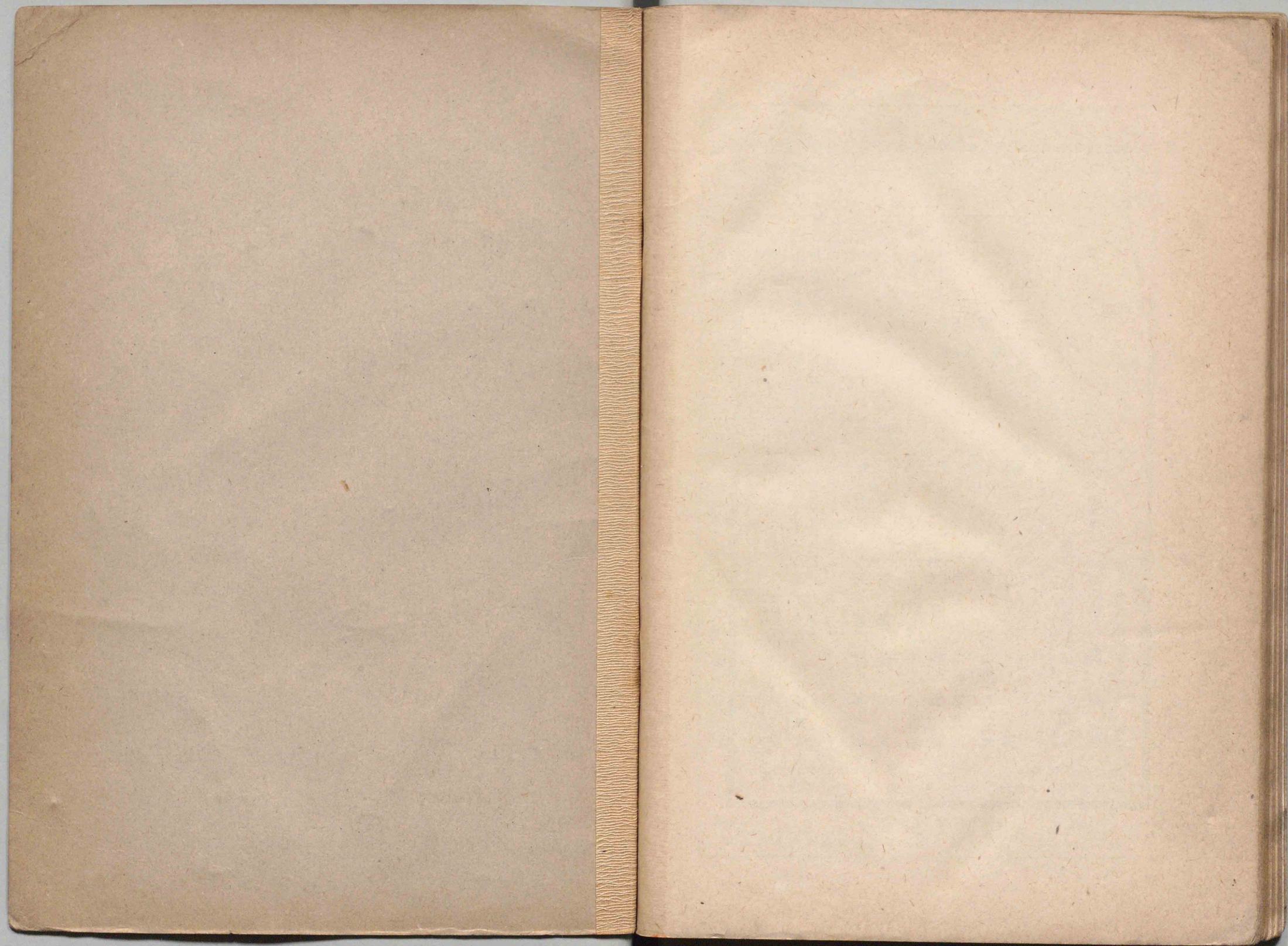
新令 綜合地理 實業學校 修正版
 標準 用日本篇 修正版
 定價金 四拾八錢



所有權著作
 製複許不

著作 守屋荒美雄
 補訂者 守屋美智雄
 發行者 株式會社 帝國書院
 代表者 守屋紀美雄
 印刷者 山本禎男
 發行所 東京市神田區西神田一丁目三番地
 株式會社 帝國書院
 振替口座東京六七〇一四番

[株式會社 宗文社印刷所]



一年五組

植田桂子

広島大学図書
2000034773
